

機械設備工事特記仕様書 No. 1

【工事概要】

Table with columns: 1 工事場所, 2 建物概要, 建物名, 構造, 階数, 延床面積, 消防法令別表第一耐震安全性の分類, 備考.

3 工事科目

Table with columns: 工事科目, 建物名称, 笠置町役場. Lists various equipment like air conditioning, ventilation, fire equipment, etc.

【特記事項】

1 一般事項

1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成三十一年版」以下、「標準仕様書」という。及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）平成三十一年版」による。

2 特記事項

項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

Main specification table with columns: 章, 項目, 特記事項. Details requirements for equipment materials, installation, and safety standards.

Table with columns: 章, 項目, 特記事項. Focuses on seismic safety and structural requirements for equipment.

Table with columns: 章, 項目, 特記事項. Focuses on general equipment specifications, safety, and maintenance.

機械設備工事特記仕様書 No.2

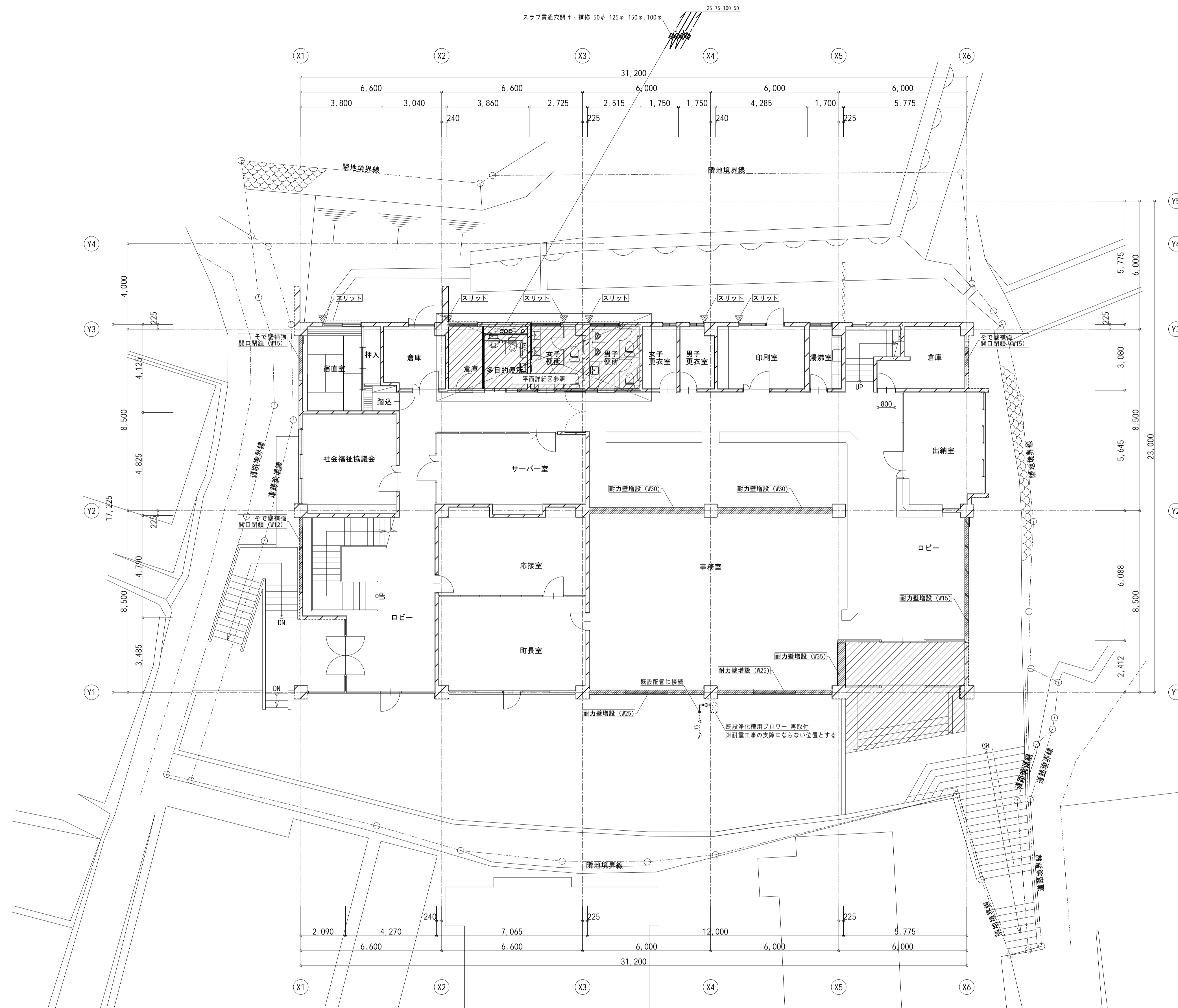
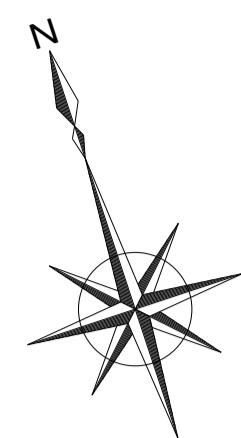
章	項目	特記事項									
空	○鋼板製煙道	厚さ ○3.2mm ○4.5mm ○ばい煙濃度計の取付座 ○ばいじん量測定口 ○抽煙継手 ○掃除口									
	○ばい煙濃度計	○ファン付 ○ファンなし (電源は熱源機器付風制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む)									
調	○瞬間流量計	○固定形 個 ○着脱可能形 (測定用タッピング 個 本体 個)									
	●保温 (図面特記部分は除く)	1) 冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内 隠へい部 ●不要 ○必要 露出部 ○保温化粧ケース (塩化ビニル樹脂製) ●カラー鉄板 ・屋外 ●ステンレス鋼板 ○樹脂製 ○アルミ合金製 ○保温化粧ケース (樹脂製) ○ステンレス鋼板製 ○溶融亜鉛メッキ鋼板製 ・保温化粧ケースの下部カバー ○必要 ○不要 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3) 加温用給水水槽の保温は膨張タンクに準ずる。 4) トラフ内の油管はプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。									
換	●ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ●コーナーボルト工法 (●共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法) ●スパイラルダクト									
	○ダクトの分岐方法	給気ダクト ○割込み方式 ○直付け方式 排気ダクト ○割込み方式 ○直付け方式									
設	○厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>ダクトの長辺</th> <th>板厚</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>450mm以下</td> <td>0.6mm</td> </tr> <tr> <td>450mmを超え1200mm以下</td> <td>0.8mm</td> </tr> <tr> <td>1200mmを超え1800mm以下</td> <td>1.0mm</td> </tr> <tr> <td>1800mmを超えるもの</td> <td>1.2mm</td> </tr> </tbody> </table>	ダクトの長辺	板厚	450mm以下	0.6mm	450mmを超え1200mm以下	0.8mm	1200mmを超え1800mm以下	1.0mm	1800mmを超えるもの
ダクトの長辺	板厚										
450mm以下	0.6mm										
450mmを超え1200mm以下	0.8mm										
1200mmを超え1800mm以下	1.0mm										
1800mmを超えるもの	1.2mm										
備	○排気フード	1) 排気フードの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ○ステンレス鋼板 (補強共) ○亜鉛鉄板 2) 排気フード廻りに取付ける幕板は、上記フードと同材質とする。 ○本工事 ○別途工事 3) グリスフィルターの予備 ○不要 ○必要									
	●保温	浴室・厨房 (多湿箇所) の外気取入ダクトの保温 ○不要 ○必要 外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 全熱交換器までの外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 全熱交換器以降の外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 排気ダクトにおける外壁より1m部分 ○不要 ●必要 保温を行う場合の仕様は標準仕様書第2編第3章第1節による。									
排	○排煙対象部分	○廊下 ○事務室 ○図示 ○最大面積 m2									
	○ダクトの種別	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト									
煙	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法									
	○ダクトの材料	○亜鉛鉄板製 ○普通鋼板製									
設	○排煙口	1) 形状 ○スリットフェーズ形 ○パネル形 ○ダンパー形 2) 排煙口の開放 ○手動 (○機械式 ○電気式) ○煙感知器連動 3) 復帰装置 ○手元復帰式 (○手動式 ○電気式) ○遠方復帰式 4) ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途工事とする。									
	○保温	床下及び暗渠内の保温 ○不要 ○必要 (図示) ※図面による。									
自動	○排煙制御										
	○衛生器具設備	●小便器用節水装置 電気供給方式 ●AC電源 ○乾電池 ○水流発電充電電池 ●自動水栓 電気供給方式 ●AC電源 ○乾電池 ○水流発電充電電池 手動スイッチ ●無し ○有り ●大便器用洗浄弁 操作方式 ○手動式 ○電気開閉式 (○センサー式 ○タッチスイッチ式) ○水石けん入れ ○手洗器一体型 ○手洗器分離型 ● ●身障者用器具 1) 大便器洗浄弁 ○センサー式 ●タッチスイッチ式 ○レバー式 2) 洗面器の水栓は自動水栓とする。									
給	●給水方式	○水道直結方式 ○高置タンク方式 ○増圧ポンプ方式 (水道用直結加圧形ポンプユニット) ●ポンプ直送方式 (小型給水ポンプユニット)									
	●配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 ○ステンレス鋼管 (SUS304) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ○ビニル管 (H1VP) ○ポリ粉体ライニング鋼管 (SGP-PA, SGP-FPA) ●塩ビライニング鋼管 (SGP-VA, SGP-FVA) ○ 地中配管 [屋内] ○ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (50φ以下) (※2種 ○1種) (ポリエチレン管の接合方法は○電気融着 ○メカニカル) ○ビニル管 (H1VP) ○ポリ粉体ライニング鋼管 (SGP-PD, SGP-FPD) ●塩ビライニング鋼管 (SGP-VD, SGP-FVD) ○ 地中配管 [屋外] ○ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (50φ以下) (※2種 ○1種) ○ビニル管 (H1VP) ○ポリ粉体ライニング鋼管 (SGP-PD, SGP-FPD) ○塩ビライニング鋼管 (SGP-VD, SGP-FVD) ○									
水	○緊急遮断弁装置	○要 ○不要 駆動方式 ○電気式 ○機械式									
	○量水器	○現地表示式 (直読式) ○遠隔表示式									

章	項目	特記事項
給	○水栓柱	○合成樹脂製 (70x70x1300H) ○ステンレス製 ( ) ○アルミニウム合金製 ( ) 特記なき場合、水栓取付け高さは約600とする。
	○管の埋設深さ	1) 一般敷地 ○300mm 2) 構内車両通路 ○600mm 3) 寒冷地では凍結深度以上とする。
水	○加入金・負担金	○不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
	○本管引込工事	○本工事 ○別途工事
設	●排水方式	汚水と雑排水 [屋内] ●分流式 ○合流式 汚水・雑排水と雨水 [屋外] ●分流式 ○合流式 ポンプ排水 ○有り (○雑排水 ○汚水 ○雨水 ○湧水 ○浄化槽2次側) ○なし
	○放流式	汚水 ○直放流下水管 ●浄化槽 ○ 雑排水 ○直放流下水管 ●浄化槽 ○別途樹・側溝 雨水ポンプアップ ○直放流下水管 ○雨水側溝 ○雨水樹 湧水ポンプアップ ○直放流下水管 ○雨水側溝 ○雨水樹
備	○配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内雑排水管 ○排水用塩ビライニング鋼管 ○鋼管 (SGPW) (○ねじ接合 OMDジョイントによる接合) ○ビニル管 (VP) ●耐火二層管 ○ 屋内汚水排水管 ○排水用塩ビライニング鋼管 ○ビニル管 (VP) ○RF-VP ●耐火二層管 ○
	通気管	○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) ○鋼管 (SGPW) (○ねじ接合 OMDジョイントによる接合) ○ビニル管 (VP) ●耐火二層管 ○
給	地中配管 [屋内]	○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (REP-VU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) ●ビニル管 (VP) ○ビニル管 (VU) ○
	地中配管 [屋外]	○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (REP-VU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU) ○ビニル管 (VP) ○ビニル管 (VU) ○コンクリート管
水	○給湯方式	○中央式 ○局部式
	○給湯材料	○鋼管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ビライニング鋼管 ○保温付き被覆鋼管
設	○保温	ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇所の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2.3.5による。
	○消火設備の種類	○屋内消火栓 ○スプリンクラー ○泡消火 ○不活性ガス消火 ( ) ○連結送水管 ○
消	○表示灯	屋内消火栓箱には、消火ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。
	○配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 ○配管用炭素鋼管 (白) ○圧力配管用炭素鋼管 (白) ○ 屋内外地中配管 ○外面被覆鋼管 (SGP-VS)
火	○保温	消火用充水タンクの保温を ○施工する (膨張タンクによる) ○施工しない 消火用呼水タンクの保温を ○施工しない ○施工する (膨張タンクによる) 屋外露出管の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様準ずる) 屋内露出管の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様準ずる) トレンチ内の保温を ○施工しない ○施工する (給水管の保温仕様準ずる)
	○ガス	●ガスの種類 ○都市ガス (発熱量 045.000kJ/N m3 ○ KJ/N m3 ) ●液化石油ガス (●50kg 2本立 ○20kg 本立)
ガ	○ガスメーター	親メーター ○貸与品 ○購入 子メーター ○購入 ○貸与品 計量方式 (○直読式 ○パルス式)
	●配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 ●配管用炭素鋼管 (白) ○ 屋内外地中配管 ○ポリエチレン被覆鋼管 ○ガス用ポリエチレン管 ○ 都市ガスの場合は、供給者仕様による。
ス	○地中埋設配管の接合法	○SGM工法 ○ネジ工法 ○PE管工法
	○ビット内施工法	○溶接工法
設	○負担金	○不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
	○本管接続工事	○本工事 ○別途工事
備	○掘削工法	○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式
	○掘削工法	○掘削工法 ○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式 深度 ( ) m ○配管用炭素鋼管 (黒管) ○配管用ステンレス鋼管

章	項目	特記事項
井	○掘削工法	○回転振動式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式
	○掘削工法	○掘削工法 ○パーカッション式 ○ロータリーパーカッション式
設	○掘削工法	○掘削工法 ○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式
	○掘削工法	○掘削工法 ○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式
備	○掘削工法	○掘削工法 ○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式
	○掘削工法	○掘削工法 ○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式

別表 1 付属品・予備品

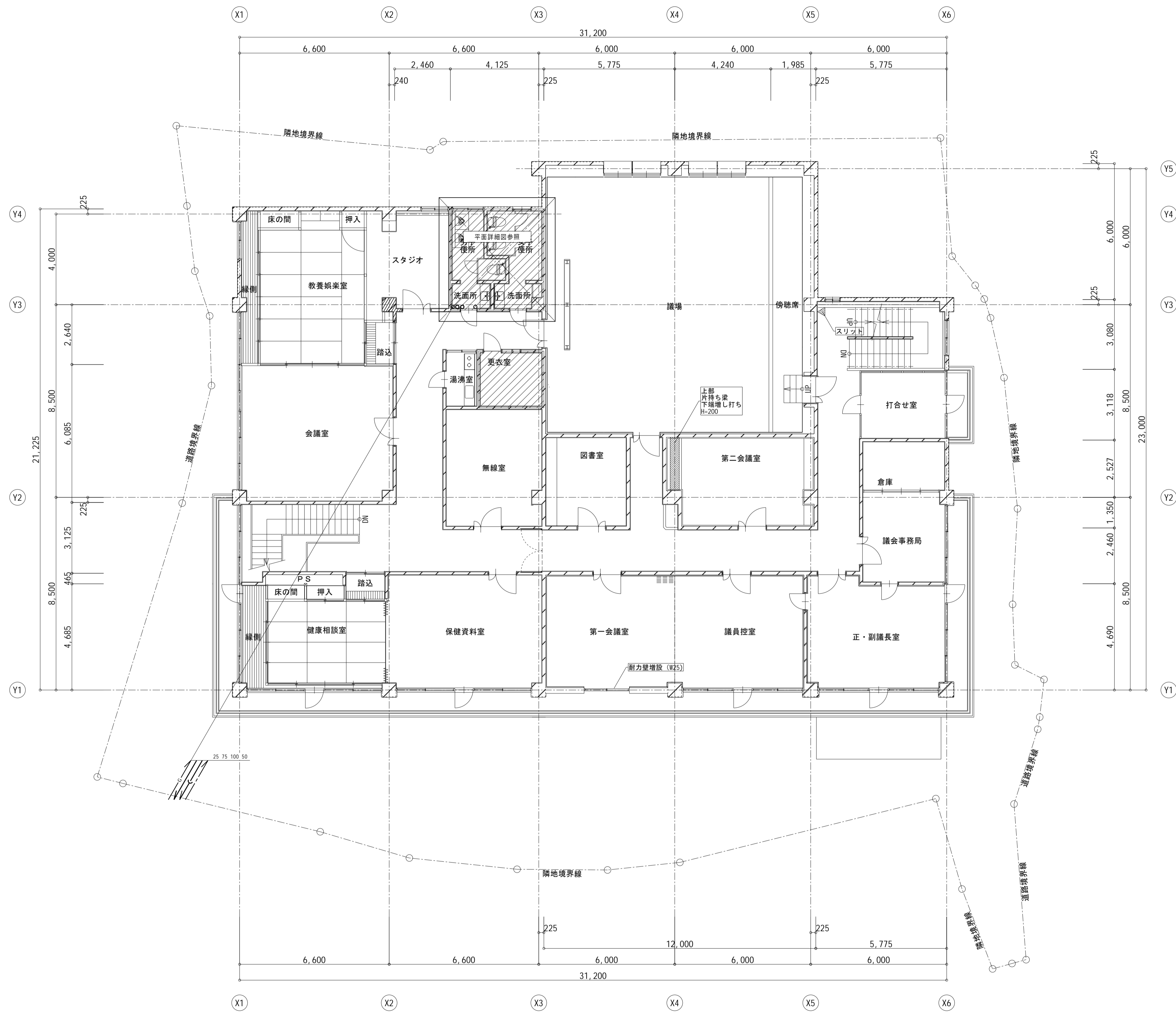
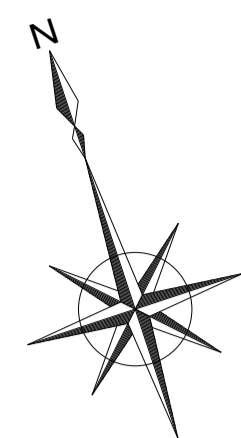
○工具箱 (ドライバー、モンキーレンチ、組スパー、ハンマー)
○マンホールロック ○パイプレンチ ○ポンププライヤー ○ラパークップ (大、小)
○イージーキャビネット 箱 ○キーボックス
○盤類予備品 (ランプ及びヒューズの100%)



改修1階平面図 1/100

- 凡例
- 耐震補強位置を示す
  - 改修範囲を示す

<p>株式会社 山崎設計</p> <p>一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也</p>	校閲	作図	担当	工事名	縮尺	図面番号
					笠置町庁舎耐震改修工事	1/100
				図面名	令和 年 月 日	
				給排水衛生設備 改修1階平面図		



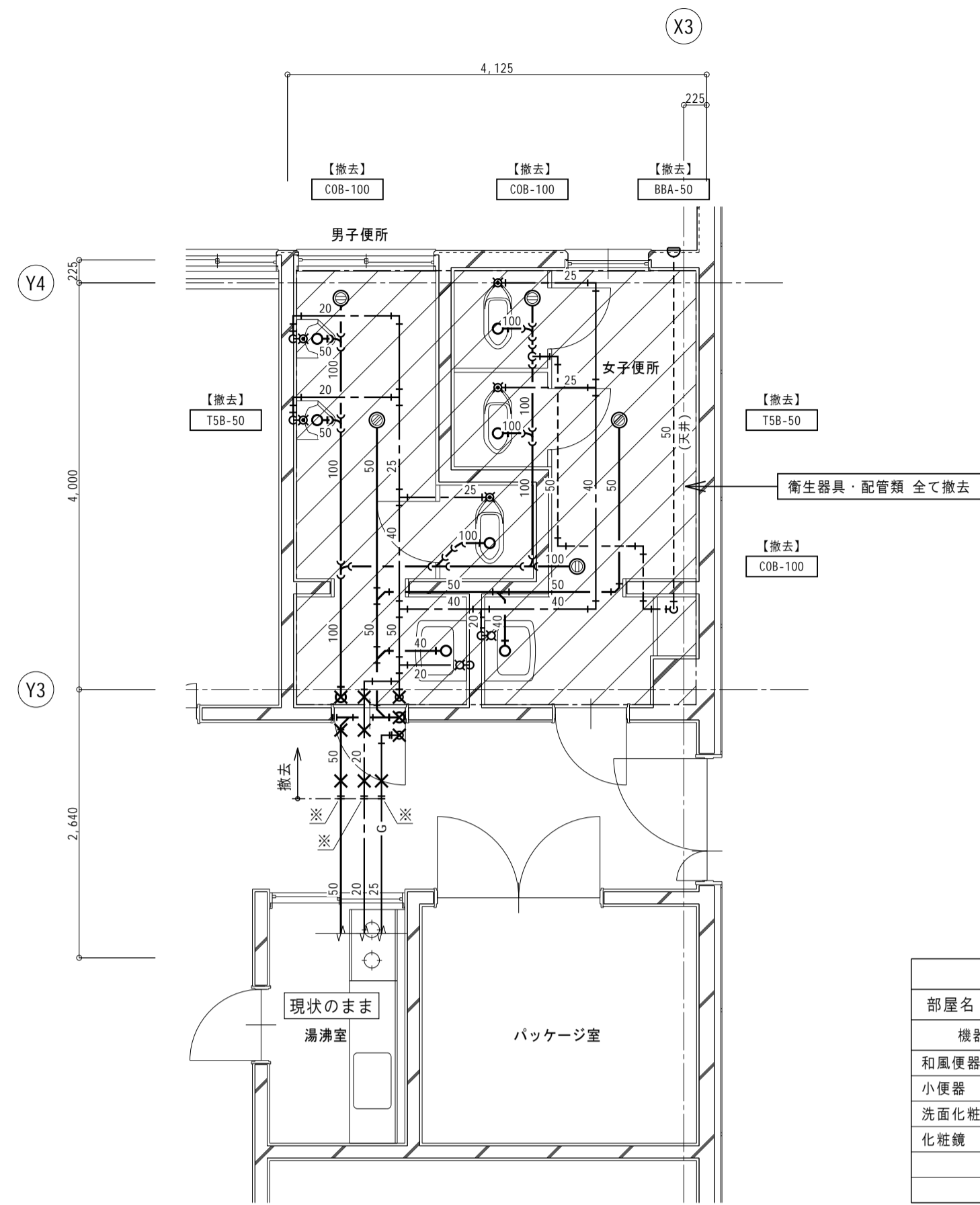
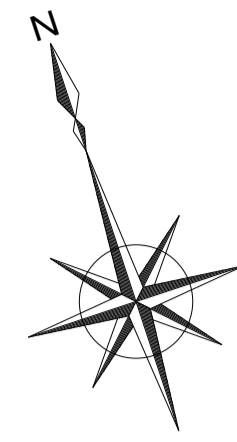
改修2階平面図 1/100

- 凡例
- 耐震補強位置を示す
  - 改修範囲を示す

<p style="text-align: center;"><b>株式会社 山崎設計</b></p> <p style="font-size: small;">一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也</p>	校閲	作図	担当	工事名	縮尺	図面番号
					笠置町庁舎耐震改修工事	1/100
				図面名	令和 年 月 日	
				給排水衛生設備 改修2階平面図		

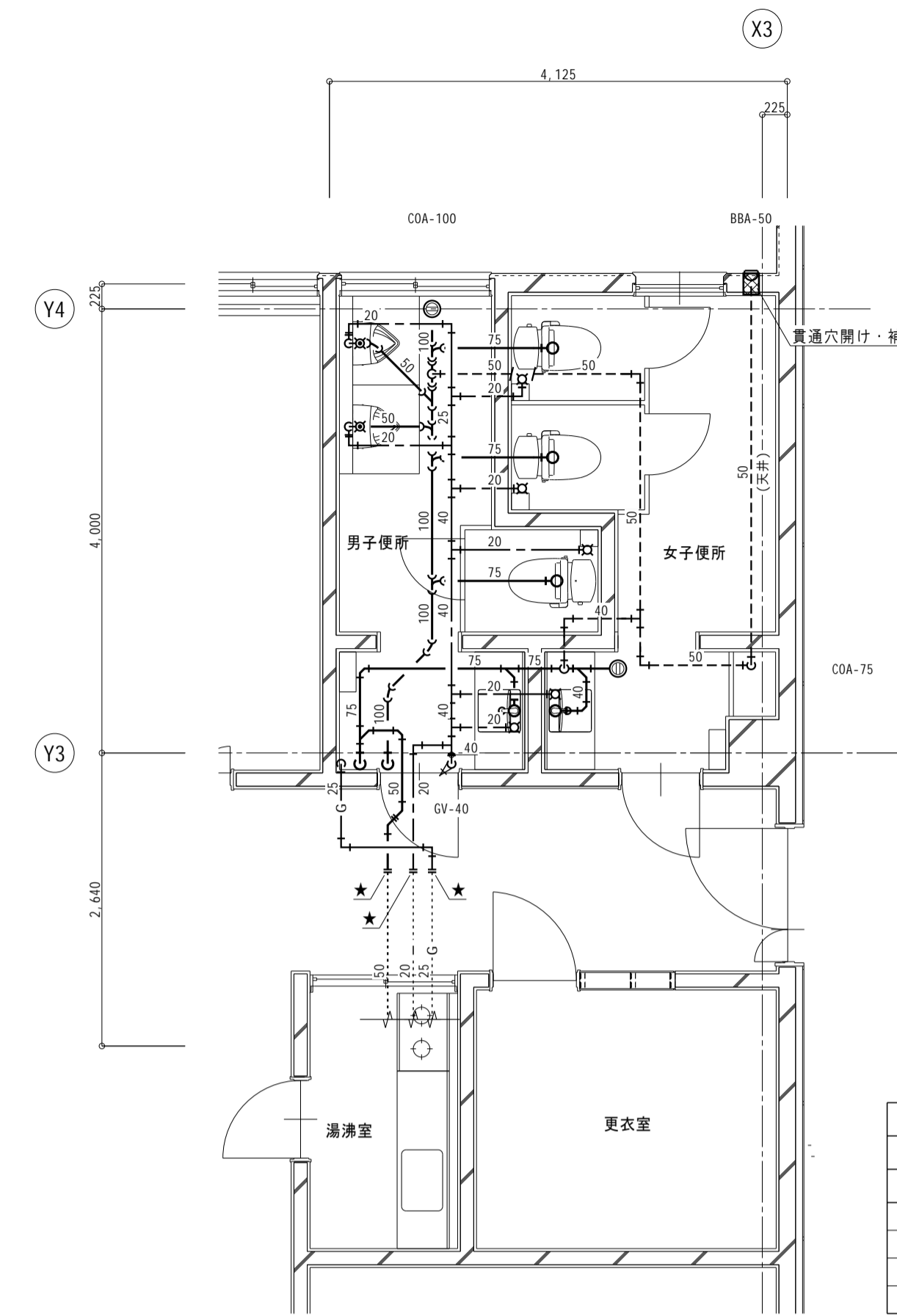
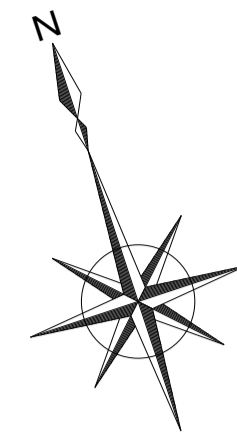
衛生器具リスト

器具名	仕様	参考品番	付属品	電源	消費電力 (W)	1 階			2 階			合計	備考	
						男子 便所	女子 便所	多目的 便所	男子 便所	女子 便所				
洋風便器	フラッシュタンク式、温水洗浄便座	CFS497BY	TCF4733R V80. TES46UR. YH701	1φ100V	1,280	2	2			1	2		7	
多目的トイレバック	タンク式、温水洗浄便座、洗面器（自動水栓） 手洗器（自動水栓）、手すり、化粧鏡 オストメイト対応バック（電気温水器、自動FV）	UADAK21R1A2ADN1B	TCFS840AUPR. YM6090A	1φ100V	1,870			1					1	
小便器	壁掛ストール、自動感知式	UFS900JS		1φ100V	24	2				2			4	
マーブライトカウンター	ボウル一体（1連）、自動水栓、オニックス、2方エプロン	MKWD L- 800	TENA125A×1. T6SM1×1. M9P40A×2. MFT3. M261×2. 扉. 底板	1φ100V	1×1	1							1	
マーブライトカウンター	ボウル一体（1連）、自動水栓、オニックス、1方エプロン	MKWD L-1,050	TENA125A×1. T6SM1×1. M9P40A×2. MFT3. M261×2. 扉. 底板	1φ100V	1×1				1	1			2	
マーブライトカウンター	ボウル一体（2連）、自動水栓、オニックス、2方エプロン	MKWD L-1,550	TENA125A×2. T6SM1×2. M9P40A×3. MFT3. M261×3. 扉. 底板	1φ100V	1×2		1						1	
化粧鏡（全身鏡）	300×1,500	YMK50K					1						1	
大型鏡	800×900、2方フレーム	MMA2				1							1	
大型鏡	1,050×900、2方フレーム	MMA2							1	1			2	
大型鏡	1,550×900、2方フレーム	MMA2					1						1	
収納キャビネット	ワイドタイプ	UGLD03S				1	1			1	1		4	
収納キャビネット	コーナー用スリムタイプ	UGR180YS				2	2			1	2		7	
ペーパーホルダー	SUS製、壁付	YKT300MN				1	1			1	1		4	
手すり	小便器用	【建築工事】												
手すり	L型	【建築工事】												



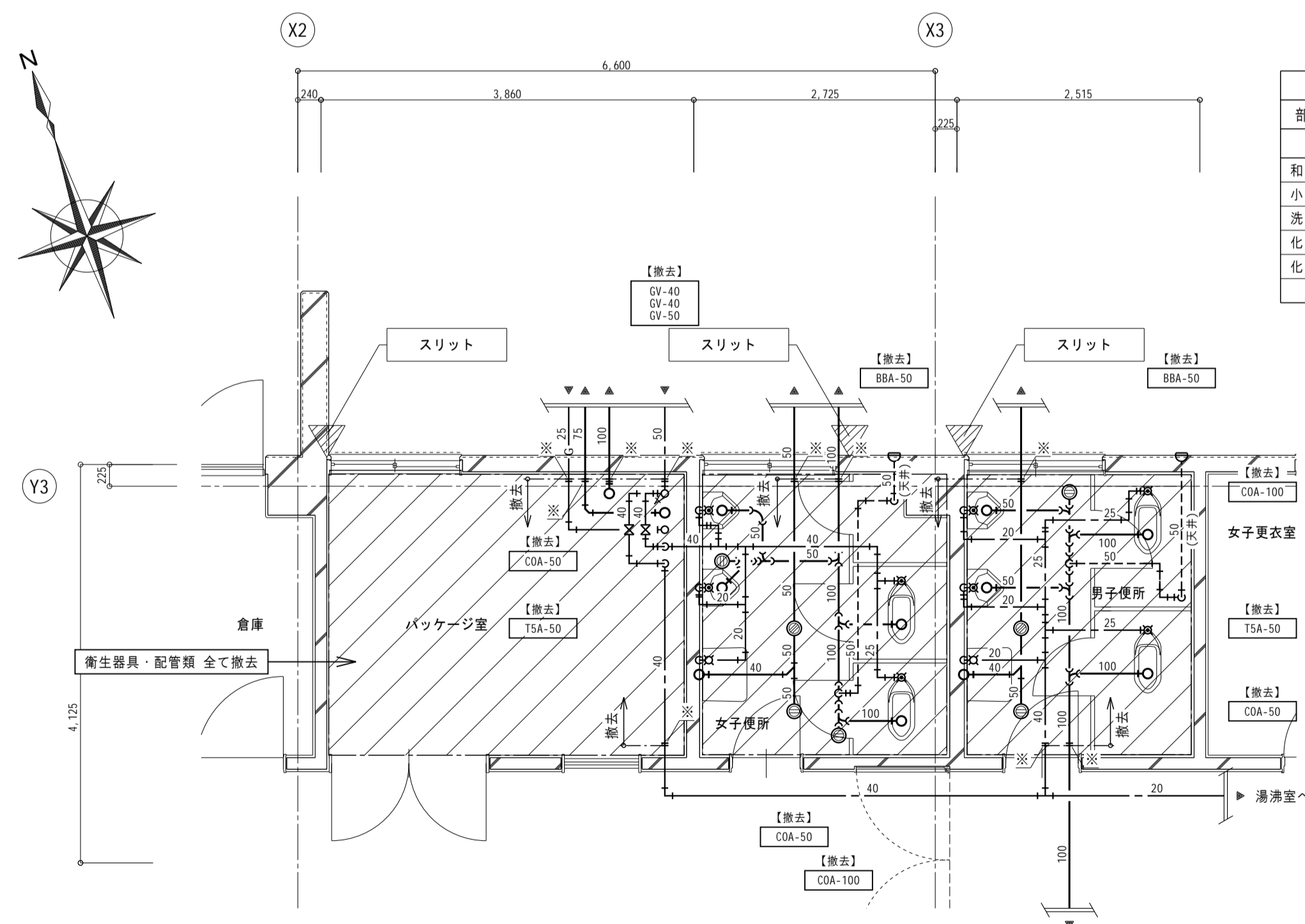
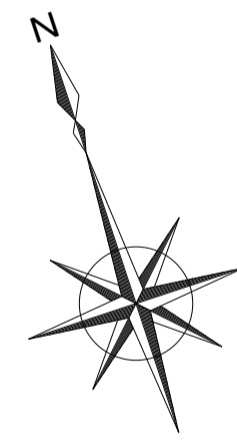
撤去機器リスト		
機器名称	仕様	個数
和風便器	F V式、紙巻器共	3
小便器	F V式、床置形	2
洗面化粧台	単水栓	2
化粧鏡		2

現況  
2階 平面詳細図 S=1/50



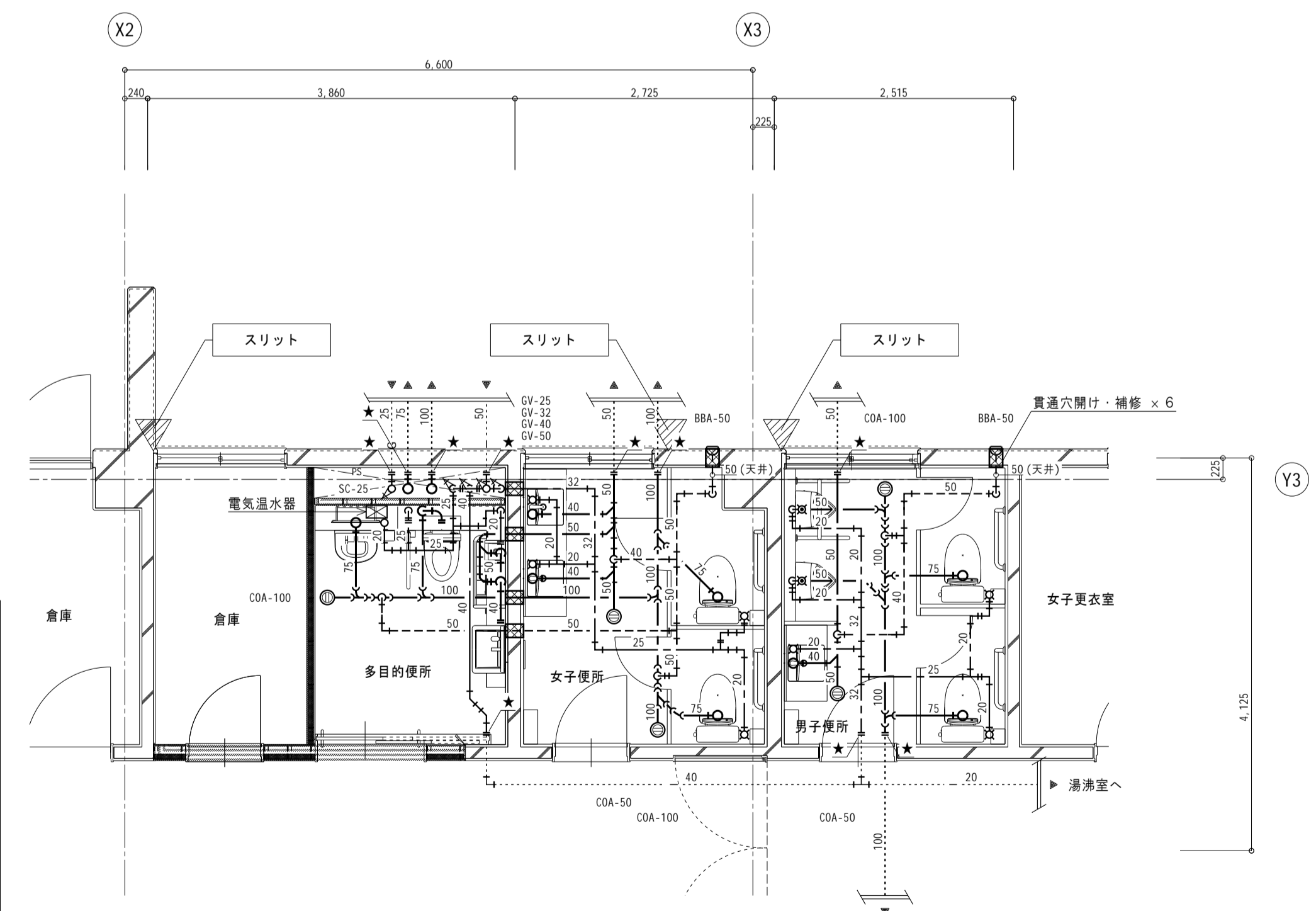
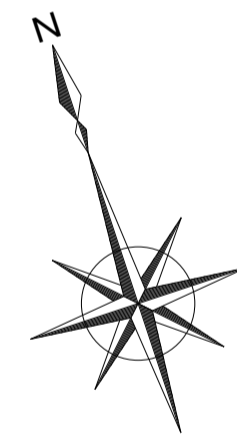
スラブ貫通 穴明け・補修 リスト		
器具接続用立上り管のスラブ貫通を示す。		
口径	仕様	個数
50φ	給水管 (〜25A)	7
100φ	排水管 (〜50A)	5
125φ	排水管 (65A〜)	5

改修  
2階 平面詳細図 S=1/50



撤去機器リスト		
機器名称	仕様	個数
和風便器	F V式、紙巻器共	4
小便器	F V式、床置形	4
洗面器	単水栓	2
化粧鏡		2
化粧櫃		2

現況  
1階 平面詳細図 S=1/50



- 特記事項
- 1) 既設衛生器具・配管(支持金物共)類の撤去・新設を行う。
  - 2) 図示以外にも過去の改修にて残置されている配管がある場合には接続先を確認後に不要なものは本工事で撤去とする。
  - 3) 図中の ※ 印は既設配管切断箇所を示し、★ 印は既設配管接続箇所を示す。
  - 4) 撤去材は全て除外搬出処分とし関係法規に基づき適正に処分すること。
  - 5) 改修に伴う土間コンクリートはつり・復旧及び天井改修は建築工事とする。
  - 6) 既設配管撤去後の貫通穴・支持金物撤去後のアンカー跡の穴埋め・補修まで本工事とする。
  - 7) 新設配管については、既設配管接続前に水圧・満水試験等を行い試験完了後に接続すること。  
既設配管接続後に再度水圧試験(常圧)及び通水試験を行う。
  - 8) 改修工事については庁舎を使用しながらの工事であり断水期間が極力短期間となる様に工程の調整を行う。  
必要により捨てバルブ・仮設配管等の対応を本工事にて行う。
  - 9) 既設壁 (D10 @200、タテヨコ) 貫通については鉄筋検査を行い既設配筋を切断しない位置とすること。

改修  
1階 平面詳細図 S=1/50

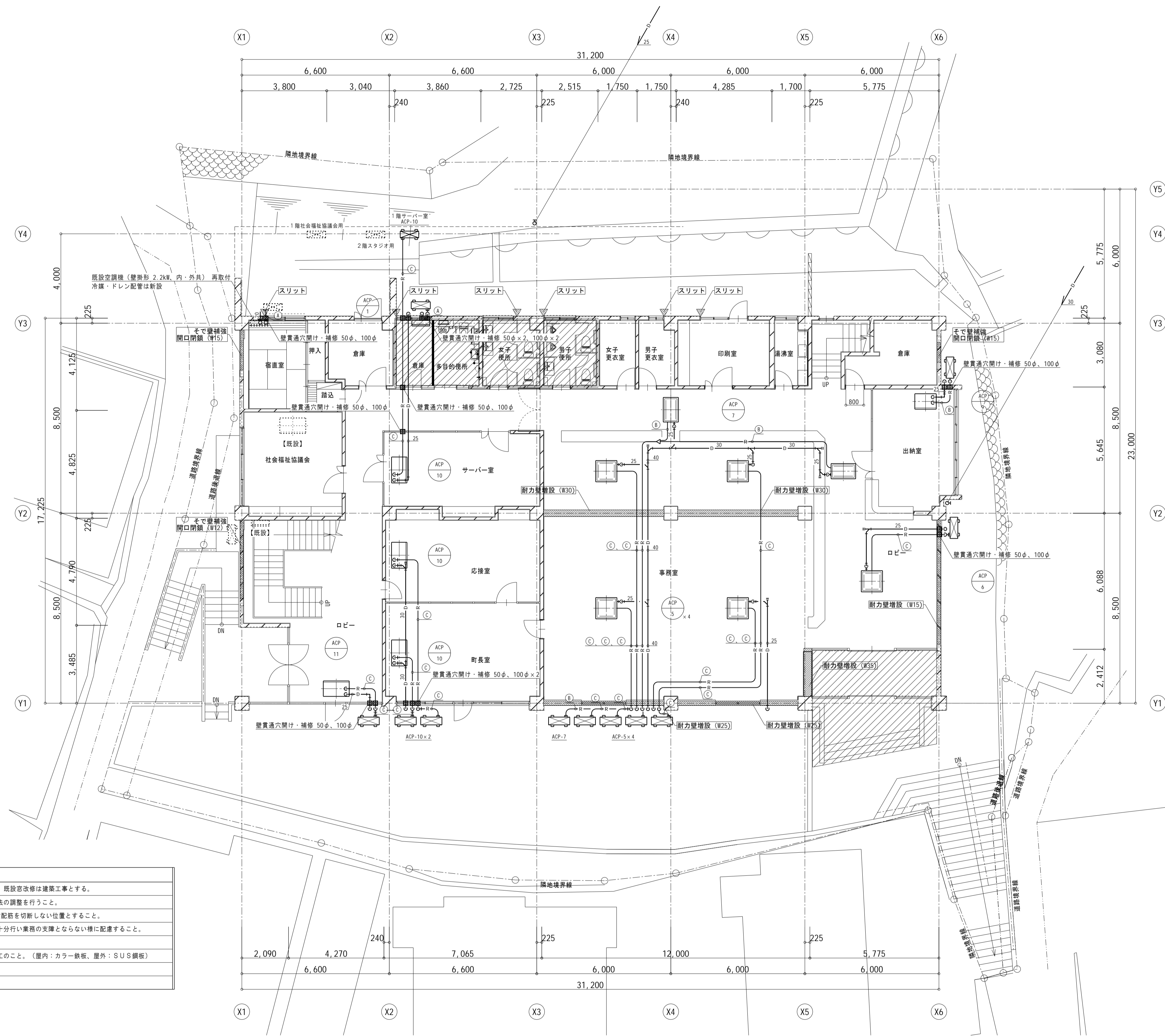
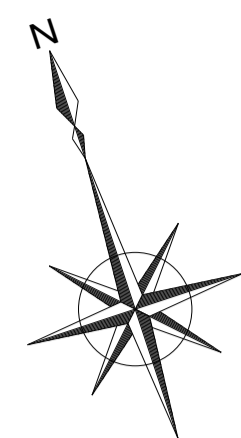
空調機器リスト

記号	機器名	仕様	付属機器			電源	電容量		台数	設置場所	参考品番
			リモコン	ドレン アップ メカ	防振		名称	出力 (kW)			
ACP-1	ルームエアコン	形式 壁掛形 標準ペア	○	○	外：B	1φ100V	圧縮機	0.60	2	1階 更衣室	S22XTSKS-F
		冷房能力 2.2 kW(0.6~2.8kW) 暖房能力 2.2 kW(0.7~4.4kW)	(ワイヤレス)	内：ー	外FAN	0.03	2階 更衣室				
		付属品 フィンガード、樹脂製室外機架台			内FAN	0.02					
ACP-2	ルームエアコン	形式 壁掛形 標準ペア	○	ー	外：B	1φ100V	圧縮機	0.75	1	2階 打合せ室	S28XTSKS-F
		冷房能力 2.8 kW(0.6~3.3kW) 暖房能力 3.6 kW(0.7~5.0kW)	(ワイヤレス)	内：ー	外FAN	0.03					
		付属品 フィンガード、樹脂製室外機架台			内FAN	0.02					
ACP-3	空冷H/Pエアコン	形式 天井カセット4方向吹出形 標準ペア	○	○	外：B	3φ200V	圧縮機	0.59	1	2階 図書室	SSRC40BFT
		冷房能力 3.6 kW(0.9~4.0kW) 暖房能力 4.0 kW(1.0~5.3kW)	(ワイヤレス)	内：A	外FAN	0.07					
		付属品 フィンガード、樹脂製室外機架台			内FAN	0.06					
ACP-4	空冷H/Pエアコン	形式 天井カセット4方向吹出形 標準ペア	○	○	外：B	3φ200V	圧縮機	1.10	1	2階 第二会議室	SSRC56BFT
		冷房能力 5.6 kW(1.4~6.3kW) 暖房能力 6.3 kW(1.6~8.0kW)	(ワイヤレス)	内：A	外FAN	0.07					
		付属品 フィンガード、樹脂製室外機架台			内FAN	0.06					
ACP-5	空冷H/Pエアコン	形式 天井カセット4方向吹出形 標準ペア	○	○	外：B	3φ200V	圧縮機	1.79	4	1階 事務室	SSRC140BF
		冷房能力 10.0 kW(3.1~11.2kW) 暖房能力 11.2 kW(2.8~14.0kW)	(ワイヤレス)	内：A	外FAN	0.21					
		付属品 フィンガード、樹脂製室外機架台			内FAN	0.11					
ACP-6	空冷H/Pエアコン	形式 天井カセット4方向吹出形 標準ペア	○	○	外：B	3φ200V	圧縮機	2.83	1	1階 ロビー(東)	SSRC160BF
		冷房能力 14.0 kW(3.5~16.0kW) 暖房能力 16.0 kW(4.0~20.0kW)	(ワイヤレス)	内：A	外FAN	0.21					
		付属品 フィンガード、樹脂製室外機架台			内FAN	0.11					
ACP-7	空冷H/Pエアコン	形式 天井カセット2方向吹出形 ツイン同時運転マルチ	○	○	外：B	3φ200V	圧縮機	1.29	1	1階 ロビー(東)、廊下	SSRG80BFTD
		冷房能力 7.1 kW(3.4~8.0kW) 暖房能力 8.0 kW(3.6~10.6kW)	(ワイヤレス)	内：A	外FAN	0.09					
		付属品 フィンガード、樹脂製室外機架台			内FAN	0.10					
ACP-8	空冷H/Pエアコン	形式 天吊露出形 標準ペア	○	○	外：B	3φ200V	圧縮機	1.07	1	2階 健康相談室	SSRH56BFT
		冷房能力 5.0 kW(2.3~5.6kW) 暖房能力 5.6 kW(2.6~7.1kW)	(ワイヤレス)	内：A	外FAN	0.07					
		付属品 フィンガード、樹脂製室外機架台			内FAN	0.06					
ACP-9	空冷H/Pエアコン	形式 天吊露出形 標準ペア	○	○	外：B	3φ200V	圧縮機	1.10	1	1階 出納室	SSRH63BFT
		冷房能力 5.6 kW(2.6~6.3kW) 暖房能力 6.3 kW(2.9~8.0kW)	(ワイヤレス)	内：A	外FAN	0.07					
		付属品 フィンガード、樹脂製室外機架台			内FAN	0.10					
ACP-10	空冷H/Pエアコン	形式 天吊露出形 標準ペア	○	○	外：B	3φ200V	圧縮機	1.29	7	1階 町長室、応接室、サーバー室	SSRH80BFT
		冷房能力 7.1 kW(3.4~8.0kW) 暖房能力 8.0 kW(3.6~10.6kW)	(ワイヤレス)	内：A	外FAN	0.09	2階 正副議長室、議員控室				
		付属品 フィンガード、樹脂製室外機架台			内FAN	0.10	第一会議室、教育読書室				
ACP-11	空冷H/Pエアコン	形式 天吊露出形 標準ペア	○	○	外：B	3φ200V	圧縮機	1.79	3	1階 ロビー(西)	SSRH12BF
		冷房能力 10.0 kW(4.8~11.2kW) 暖房能力 11.2 kW(5.1~14.0kW)	(ワイヤレス)	内：A	外FAN	0.21	2階 保健資料室、会議室				
		付属品 フィンガード、樹脂製室外機架台			内FAN	0.15					
ACP-12	空冷H/Pエアコン	形式 床置形 標準ペア	○	ー	外：B	3φ200V	圧縮機	4.61	2	2階 講壇	SZRV224A
		冷房能力 20.0 kW(10.1~22.4kW) 暖房能力 22.4 kW(10.1~28.0kW)	(本体組込)	内：ー	外FAN	0.60					
		付属品 フィンガード、樹脂製室外機架台、室内機木台			内FAN	0.23					

- 【特記事項】
- 表中の能力表示はJIS条件時の値とする。
  - 全機種共通付属品  
室内機~室外機間の渡り配線(EM-CEE 2.0' -3C)工事(冷暖配管に共巻きとする。)
  - 機器防振種別  
A：防振吊金具 B：防振ゴムパッド C：スプリングバネ防振架台（OS防振架台 相当品）を示す。
  - 上記リスト中の機器については、グリーン購入法調達基準適合商品とする。
  - 冷暖配管延長に伴う配管サイズUP及び冷媒ガス追加充填等は全て本工事とする。

換気機器リスト

記号	機器名	仕様	電源	電容量(W)		台数	設置場所	参考品番 【三菱電機】	
				名称	入力				
FEC1-100	天井埋込形換気扇	形式 低騒音インテリア格子形	1φ100V	FAN	14.0	4	1階 倉庫、宿直室	VD-15ZX12-C	
		風量 100 m³/h 静圧 40 Pa							2階 更衣室、図書室
		付属品 天吊金具、SUS製深形フード(防虫網付)							
FEC1-150	天井埋込形換気扇	形式 低騒音インテリア格子形	1φ100V	FAN	22.5	2	1階 サーバー室	VD-15ZX12-C	
		風量 150 m³/h 静圧 60 Pa							2階 無線室
		付属品 天吊金具、SUS製深形フード(防虫網付)							
FEC1-200	天井埋込形換気扇	形式 低騒音インテリア格子形	1φ100V	FAN	28.5	1	1階 多目的便所	VD-18ZX12-C	
		風量 200 m³/h 静圧 60 Pa							
		付属品 天吊金具、SUS製深形フード(防虫網付)							
FEC1-300	天井埋込形換気扇	形式 低騒音インテリア格子形	1φ100V	FAN	46.0	6	1階 事務室×3、応接室、ロビー(東)	VD-20ZX12-C	
		風量 300 m³/h 静圧 70 Pa							2階 第二会議室
		付属品 天吊金具、SUS製深形フード(防虫網付) ※ロビー、第二会議室用はFD付							
FER-500	レンジフードファン	形式 深形 60cm幅	1φ100V	FAN	154	2	1階 湯沸室	V-605K8	
		風量 500 m³/h 静圧 120 Pa							2階 湯沸室
		付属品 基板							
FEW-480	換気扇	形式 電気式シャッター格子タイプ(羽根径 200φ)	1φ100V	FAN	13.5	19	1階 町長室、印刷室、男子更衣室、女子更衣室、男子便所	EX-20EK8-C	
		風量 480 m³/h 静圧 ー Pa							2階 女子便所、社会福祉協議会、出納室
		付属品 取付枠、SUS製ウエザーカー(防虫網付) ※1階 出納室、社会福祉協議会、2階 打合せ室、議会事務局、正・副議長室 健康相談室、教育読書室、スタジオ、男子便所、女子便所							
FEW-690	換気扇	形式 電気式シャッター格子タイプ(羽根径 250φ)	1φ100V	FAN	18.5	4	1階 ロビー(西)	EX-25EK8-C	
		風量 690 m³/h 静圧 ー Pa							2階 会議室
		付属品 取付枠、SUS製ウエザーカー(防虫網付) ※2階 会議室用はFD付							
FE-4800	シロココファン	形式 片吸込形 天吊防振ベース No. 2.5	3φ200V	FAN	1.5 kW	1	3階 ボイラー室	CLF6-No.2.5-TH-L RS-1-e	
		風量 4,800 m³/h 静圧 300 Pa							
		付属品 相フランジ、キャンバス継手							



記号	冷媒サイズ
Ⓐ	6.4φ×9.5φ
Ⓑ	6.4φ×12.7φ
Ⓒ	9.5φ×15.9φ
Ⓓ	9.5φ×19.1φ
Ⓔ	9.5φ×25.4φ
Ⓕ	12.7φ×25.4φ

注記  
 ・冷媒配管には渡り配線 (EM-EFF 1.6-3C) を含む。  
 ・特記無き 末端ドレン管口径は、25Aとする。

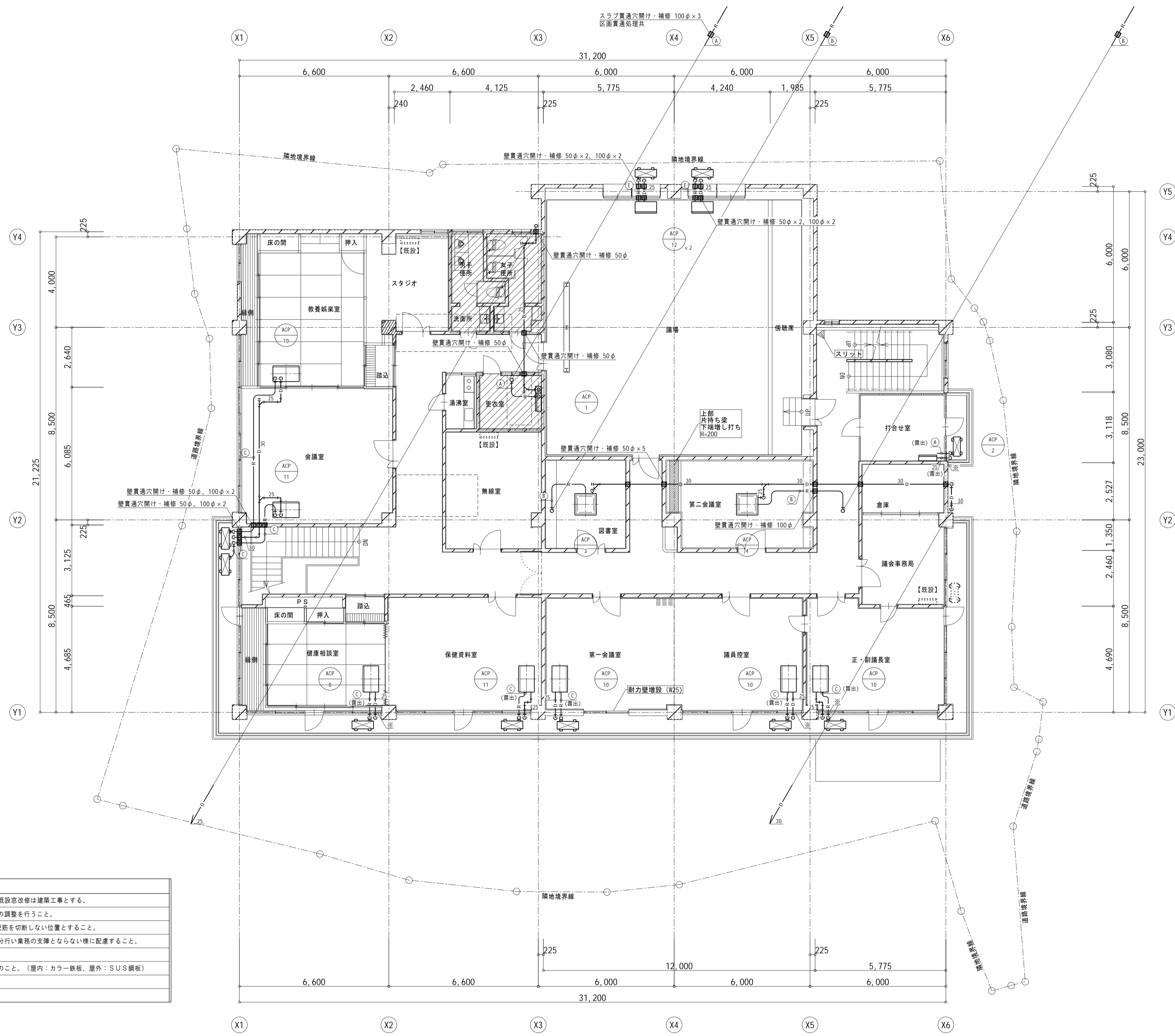
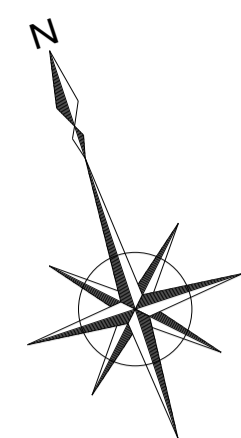
特記事項	
1)	図中の ※ 印の配管施工についてはアルミバネ貫通とする。また、既設窓改修は建築工事とする。
2)	新設耐震壁の貫通補強については建築工事とし事前に貫通位置・寸法の調整を行うこと。
3)	既設壁 (D10 @200、タテヨコ) 貫通については鉄筋探査を行い既設配筋を切断しない位置とすること。
4)	工事については執務進行作業のため作業工程・騒音作業等の調整を十分に行い業務の支障とならない様に配慮すること。
5)	新設機器・配管工事に伴う天井改修は建築工事とする。
6)	屋内・屋外露出の冷媒管及び屋内露出のドレン管については保温施工のこと。(屋内：カラー鉄板、屋外：SUS鋼板)
7)	屋外露出のドレン管については指定色塗装仕上とする。

改修1階平面図 1/100

凡例  
 耐震補強位置を示す  
 改修範囲を示す

株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也	校閲	作図	担当	工事名	縮尺	図面番号
				笠置町庁舎耐震改修工事	1/100	M / 08
				図面名	令和 年 月 日	
				空調調和設備 改修1階平面図		







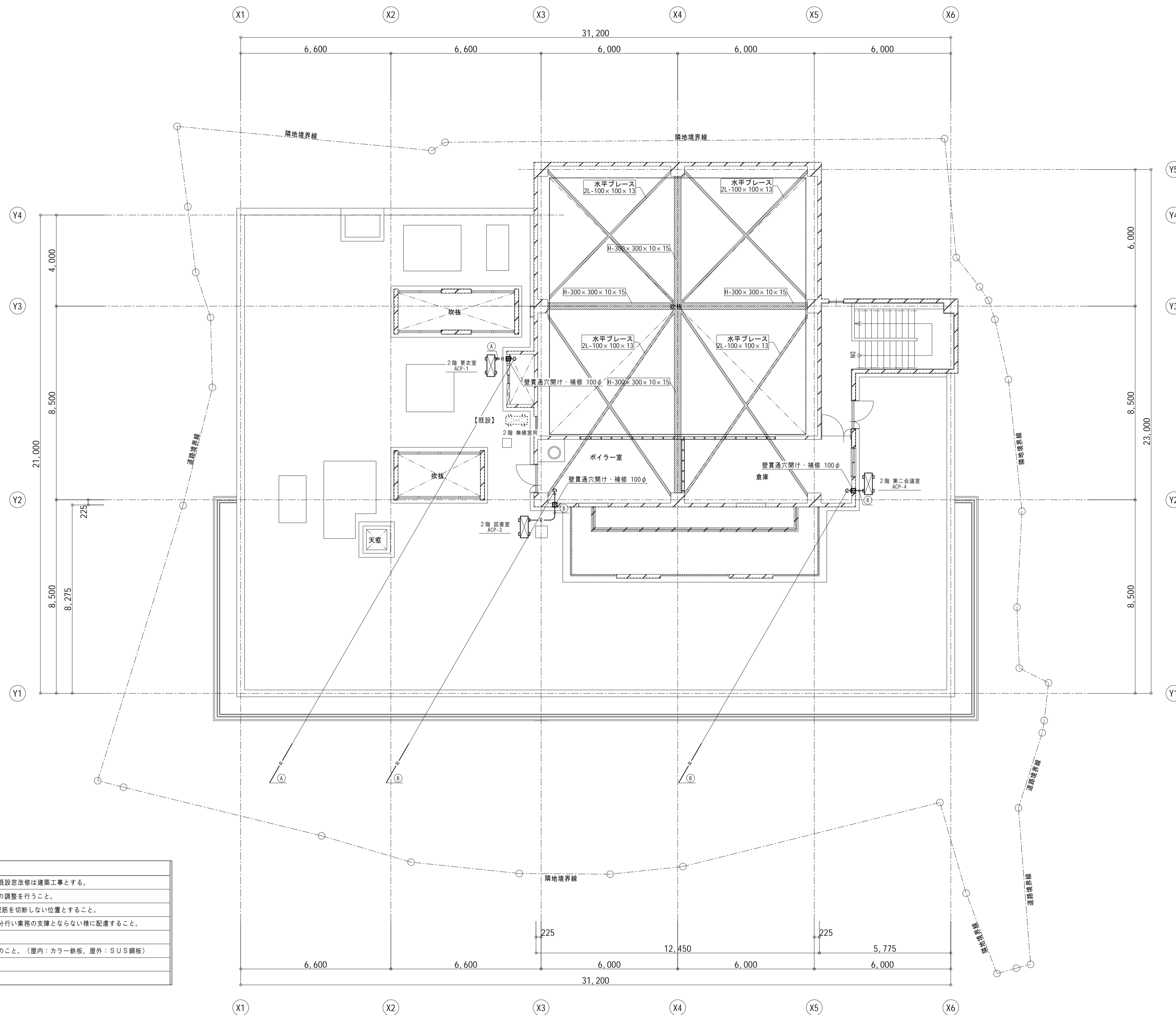
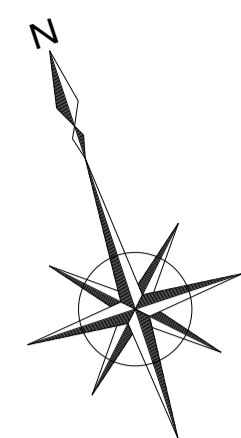
記号	冷媒サイズ
Ⓐ	6.4φ x 9.5φ
Ⓑ	6.4φ x 12.7φ
Ⓒ	9.5φ x 15.9φ
Ⓓ	9.5φ x 19.1φ
Ⓔ	9.5φ x 25.4φ
Ⓕ	12.7φ x 25.4φ

注記  
 ・冷媒配管には渡り配線 (EM-EFF 1.6-3C) を含む。  
 ・特記無き 末端ドレン管口径は、25Aとする。

特記事項	
1)	図中の ※ 印の配管施工についてはアルミバネル貫通とする。また、既設窓改修は建築工事とする。
2)	新設耐震壁の貫通補強については建築工事とし事前に貫通位置・寸法の調整を行うこと。
3)	既設壁 (D10 @200、タテヨコ) 貫通については鉄筋探査を行い既設配筋を切断しない位置とすること。
4)	工事については執務進行作業のため作業工程・騒音作業等の調整を十分に行い業務の支障とならない様に配慮すること。
5)	新設機器・配管工事に伴う天井改修は建築工事とする。
6)	屋内・屋外露出の冷媒管及び屋内露出のドレン管については保温施工のこと。(屋内：カラー鉄板、屋外：SUS鋼板)
7)	屋外露出のドレン管については指定色塗装仕上とする。

改修2階平面図 1/100

凡例  
 耐震補強位置を示す  
 改修範囲を示す



記号	冷媒サイズ
A	6.4φ × 9.5φ
B	6.4φ × 12.7φ
C	9.5φ × 15.9φ
D	9.5φ × 19.1φ
E	9.5φ × 25.4φ
F	12.7φ × 25.4φ

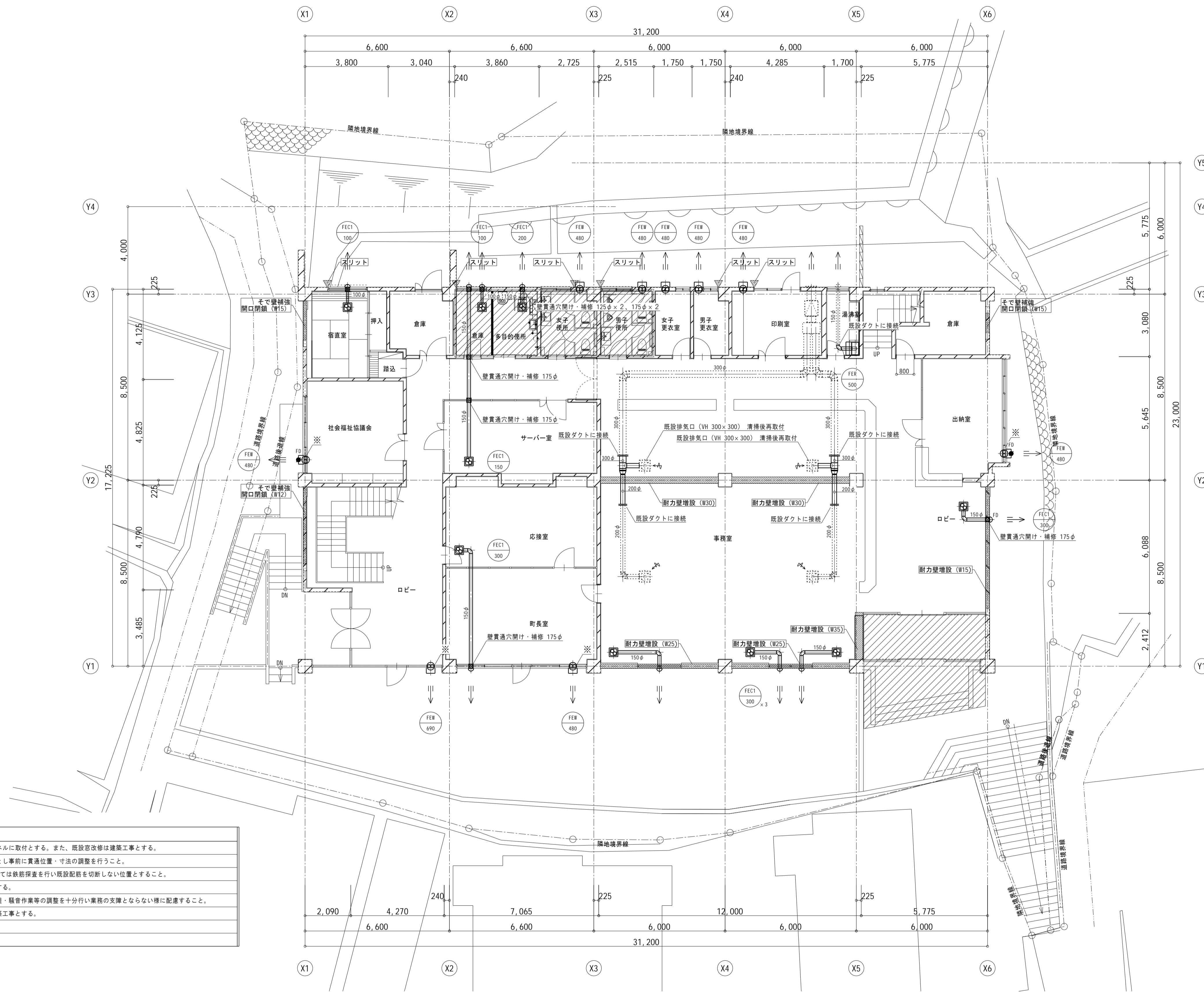
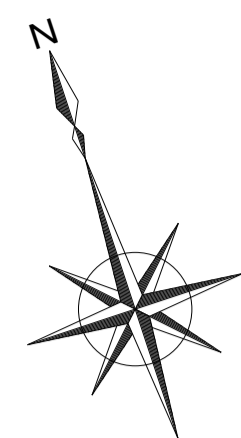
注記  
 ・冷媒配管には送り配線 (EM-EFF 1.6-3C) を含む。  
 ・特記無き 末端ドレン管口径は、25Aとする。

特記事項
1) 図中の ※ 印の配管施工についてはアルミパネル貫通とする。また、既設窓改修は建築工事とする。
2) 新設新壁の貫通補強については建築工事とし事前に貫通位置・寸法の調整を行うこと。
3) 既設壁 (D10 @200、タテヨコ) 貫通については鉄筋探査を行い既設配筋を切断しない位置とすること。
4) 工事については軌務並行作業のため作業工程・騒音作業等の調整を十分行い業務の支障とならない様に配慮すること。
5) 新設機器・配管工事に伴う天井改修は建築工事とする。
6) 屋内・屋外露出の冷媒管及び屋内露出のドレン管については保温施工のこと。(屋内：カラー鉄板、屋外：SUS鋼板)
7) 屋外露出のドレン管については指定色塗装仕上とする。

改修3階平面図 1/100

凡例

	耐震補強位置を示す
	改修範囲を示す

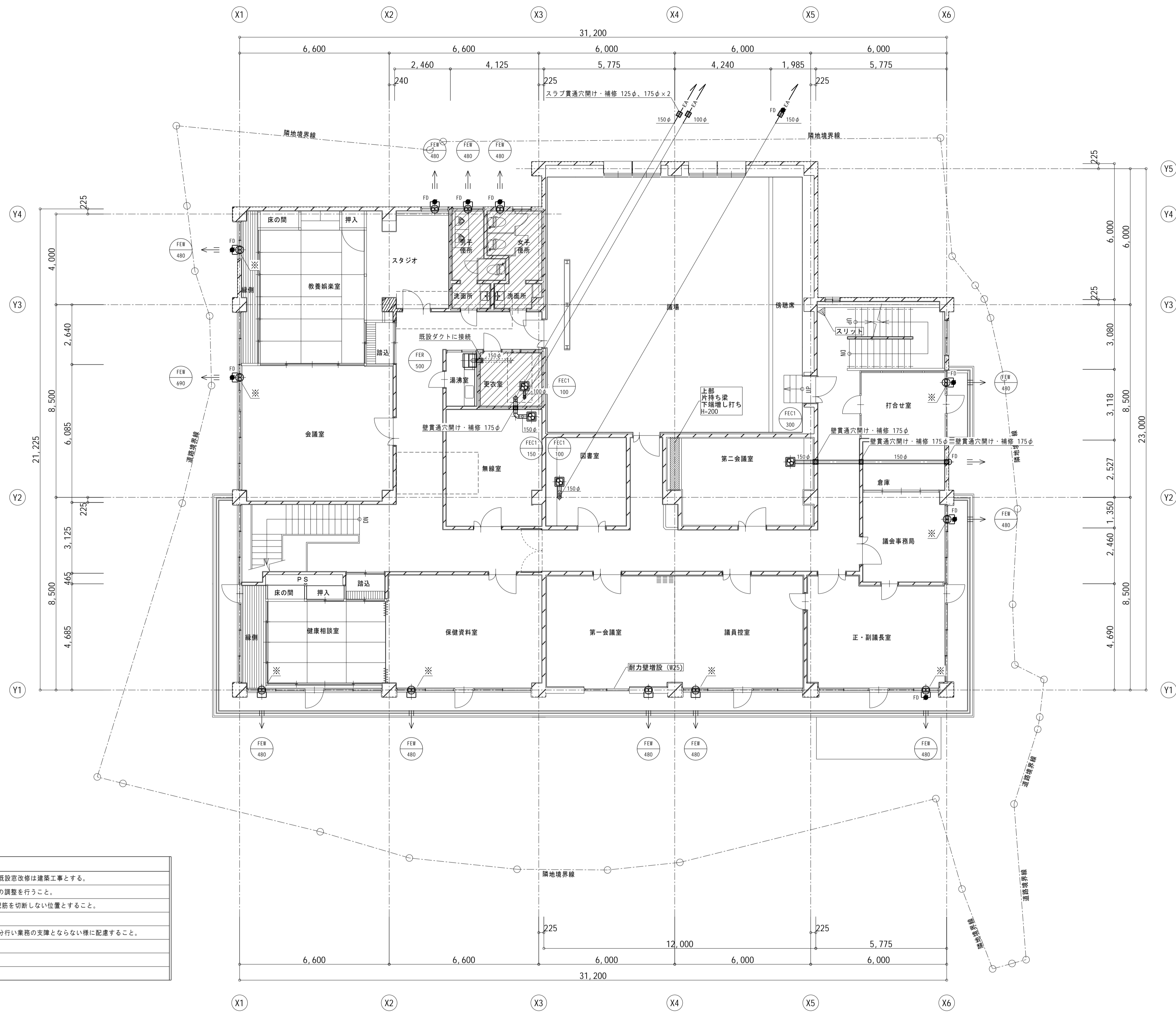
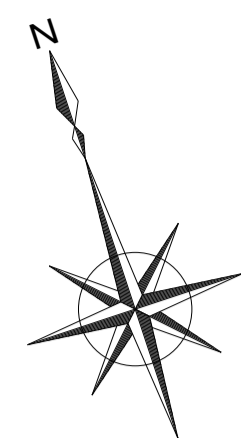


- 特記事項
- 1) 図中の ※ 印の換気扇についてはアルミパネルに取付とする。また、既設窓改修は建築工事とする。
  - 2) 新設耐力壁の貫通補強については建築工事とし事前に貫通位置・寸法の調整を行うこと。
  - 3) 既設壁 (D10 @200、タテヨコ) 貫通については鉄筋探査を行い既設配筋を切断しない位置とすること。
  - 4) 図示以外の換気設備については既設残置とする。
  - 5) 工事については執務並行作業のため作業工程・騒音作業等の調整を十分に行い業務の支障とならない様に配慮すること。
  - 6) 新設機器・ダクト工事に伴う天井改修は建築工事とする。

改修1階平面図 1/100

- 凡例
- 耐力補強位置を示す
  - ▨ 改修範囲を示す

株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也	校閲 作図 担当	工事名 笠置町庁舎耐震改修工事	縮尺 1/100	図面番号 M / 11
	図面名 換気設備 改修1階平面図	令和 年 月 日		

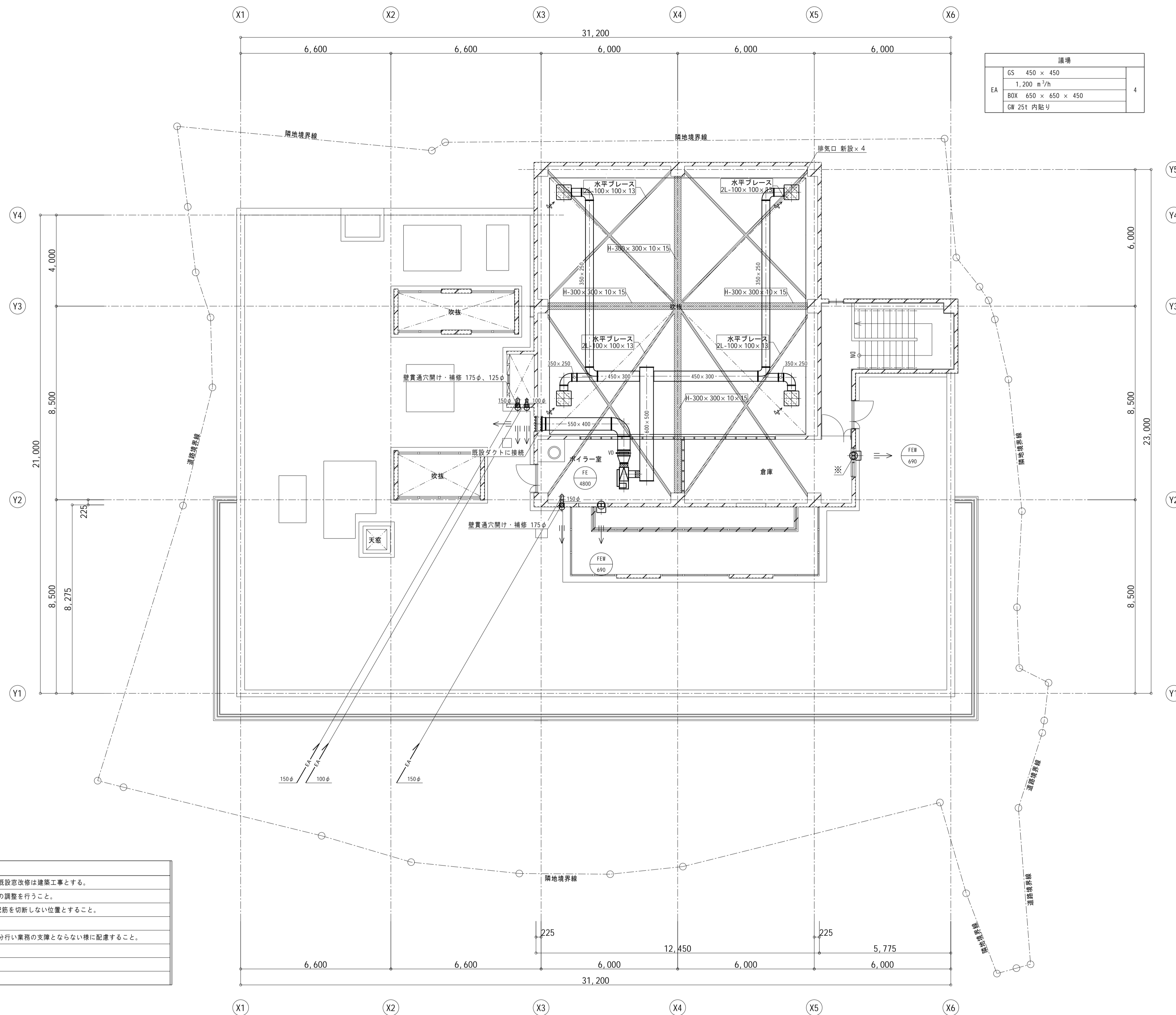
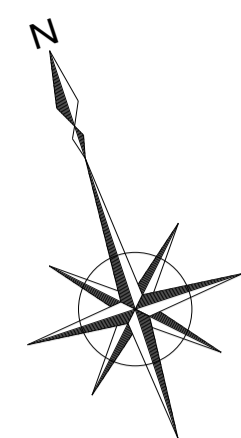


特記事項	
1)	図中の ※ 印の換気扇についてはアルミパネルに取付とする。また、既設窓改修は建築工事とする。
2)	新設耐震壁の貫通補強については建築工事とし事前に貫通位置・寸法の調整を行うこと。
3)	既設壁 (D10 @200、タテヨコ) 貫通については鉄筋探査を行い既設配筋を切断しない位置とすること。
4)	図示以外の換気設備については既設残置とする。
5)	工事については執務並行作業のため作業工程・騒音作業等の調整を十分行い業務の支障とならない様に配慮すること。
6)	新設機器・ダクト工事に伴う天井改修は建築工事とする。

改修2階平面図 1/100

- 凡例
- 耐震補強位置を示す
  - 改修範囲を示す

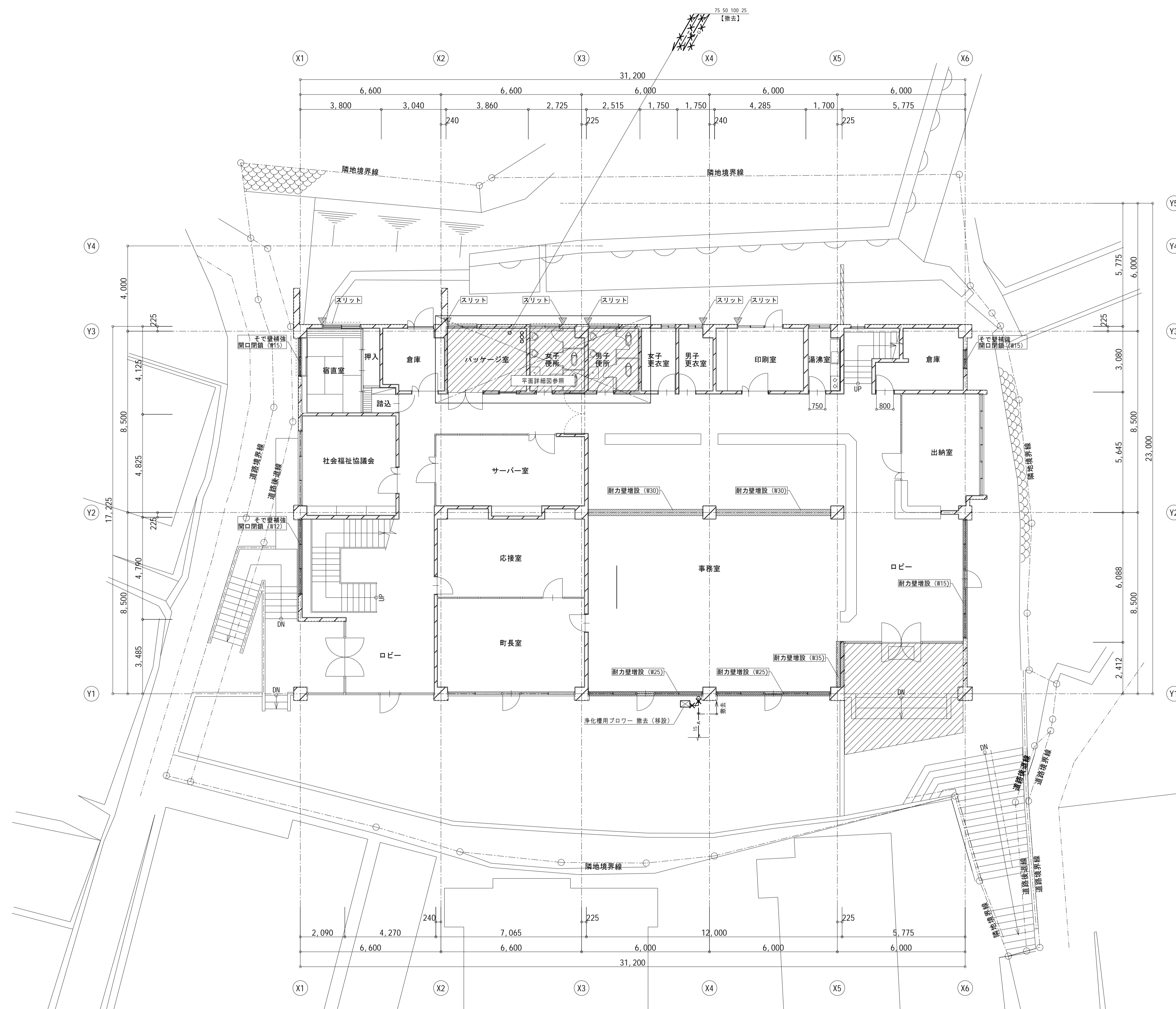
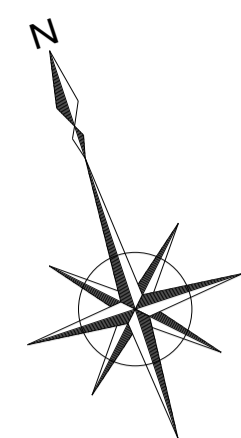
<p>株式会社 山崎設計</p> <p>一級建築士事務所 京都府知事登録 (O1A) 第02439号</p> <p>一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也</p>	校閲	作図	担当	工事名	縮尺	図面番号
	笠置町庁舎耐震改修工事				1/100	M / 12
				図面名	令和 年 月 日	
				換気設備 改修2階平面図		



- 特記事項
- 1) 図中の ※ 印の換気扇についてはアルミパネルに取付とする。また、既設窓改修は建築工事とする。
  - 2) 新設新設壁の貫通補強については建築工事とし事前に貫通位置・寸法の調整を行うこと。
  - 3) 既設壁 (D10 @200、タテヨコ) 貫通については鉄筋保護を行い既設配筋を切断しない位置とすること。
  - 4) 図示以外の換気設備については既設残置とする。
  - 5) 工事については執務並行作業のため作業工程・騒音作業等の調整を十分に行い業務の支障とならない様に配慮すること。
  - 6) 新設機器・ダクト工事に伴う天井改修は建築工事とする。

改修3階平面図 1/100

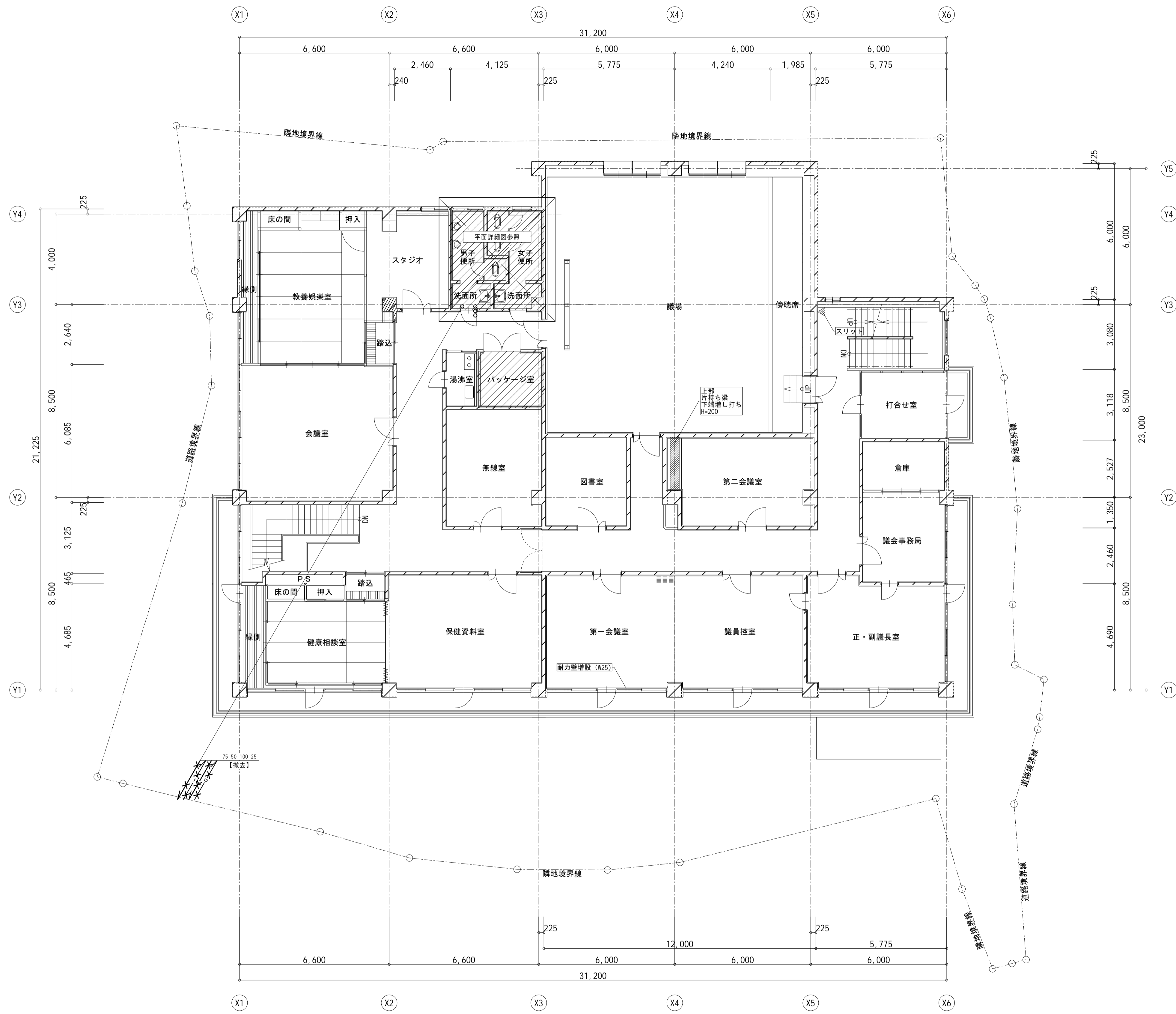
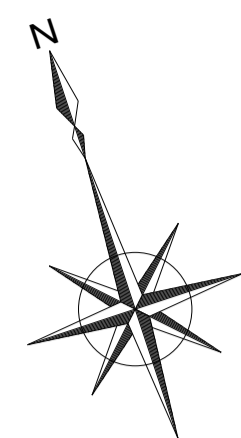
- 凡例
- 耐震補強位置を示す
  - 改修範囲を示す



現況 1階平面図 1/100

- 凡例
- 耐震補強位置を示す
  - 改修範囲を示す

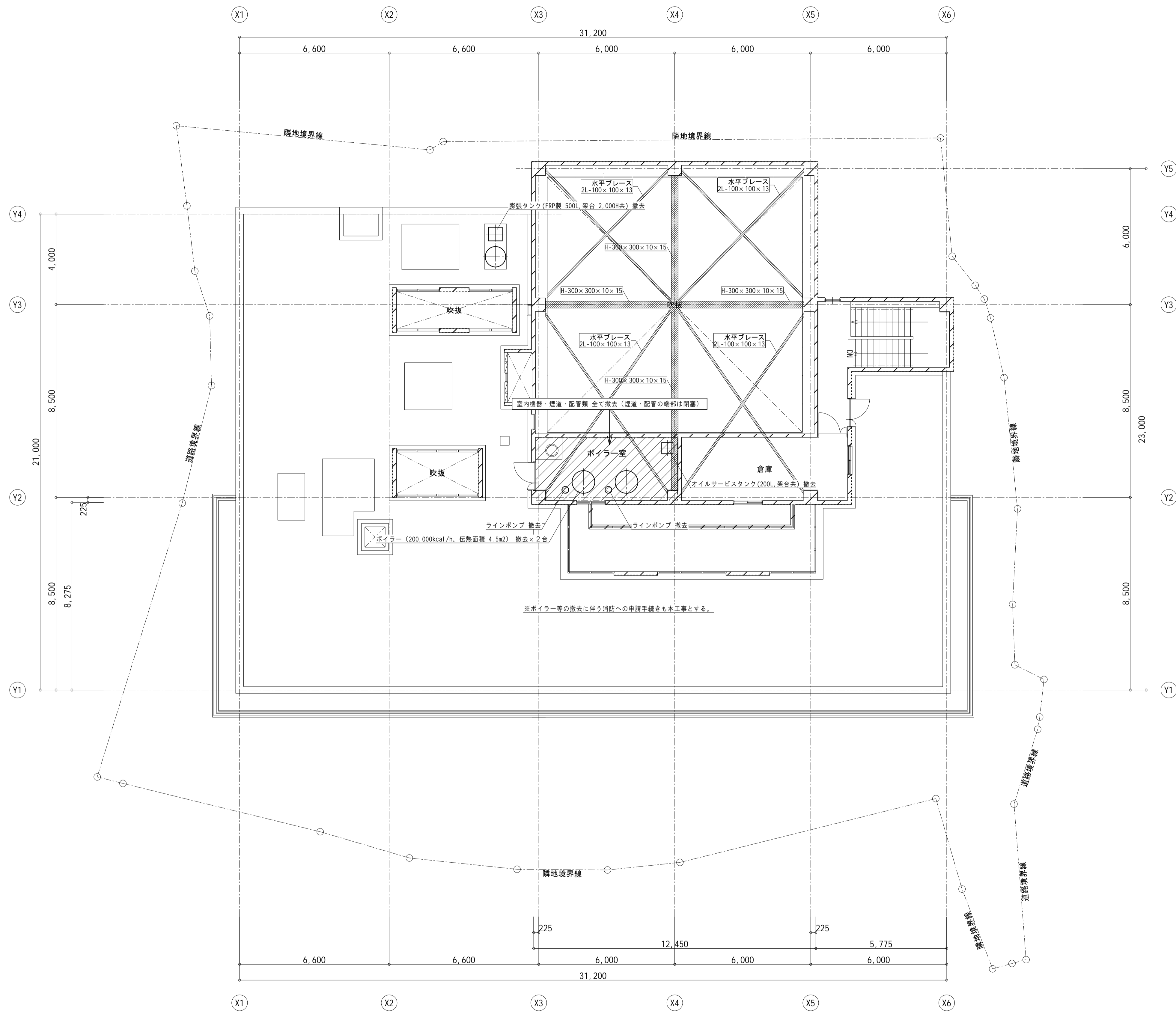
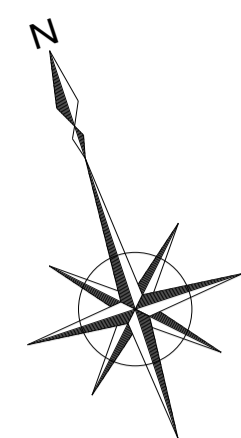
<p style="text-align: center;"><b>株式会社 山崎設計</b></p> <p>一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也</p>	校閲	作図	担当	工事名	縮尺	図面番号
					笠置町庁舎耐震改修工事	1/100
				図面名		
				給排水衛生設備 現況 1階平面図	令和 年 月 日	



現況2階平面図 1/100

- 凡例
- 耐震補強位置を示す
  - 改修範囲を示す

<p style="text-align: center;">株式会社 山崎設計</p> <p>一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也</p>	校閲	作図	担当	工事名	縮尺	図面番号
					笠置町庁舎耐震改修工事	1/100
				図面名		
				給排水衛生設備 現況2階平面図	令和 年 月 日	

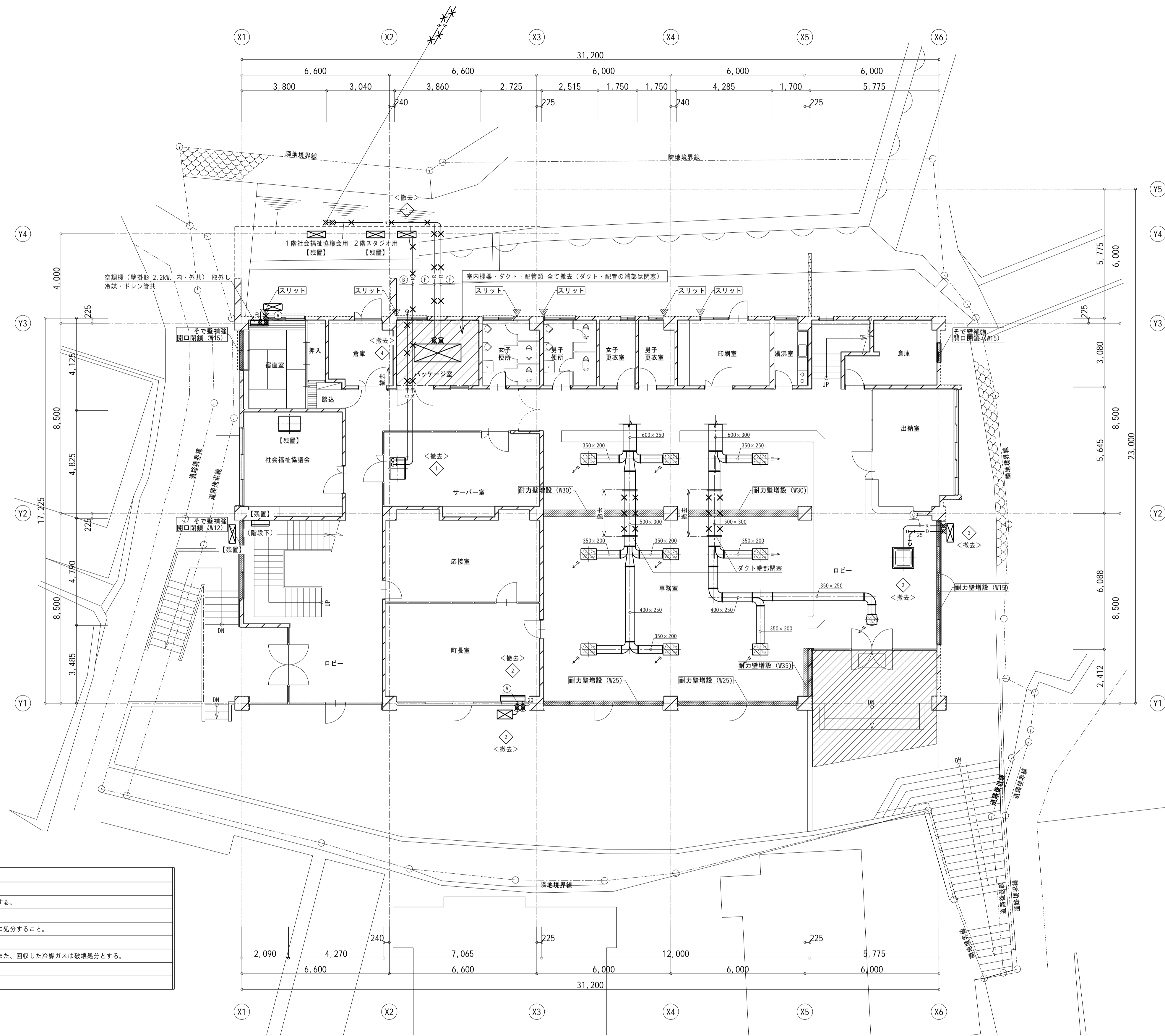
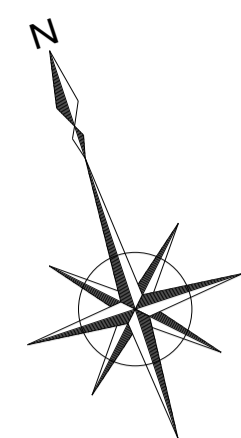


現況3階平面図 1/100

- 凡例
- 耐震補強位置を示す
  - 改修範囲を示す

<p>株式会社 山崎設計</p> <p>一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号</p> <p>一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也</p>	校閲	作図	担当	工事名	縮尺	図面番号
					笠置町庁舎耐震改修工事	1/100
				図面名		
				給排水衛生設備 現況3階平面図	令和 年 月 日	





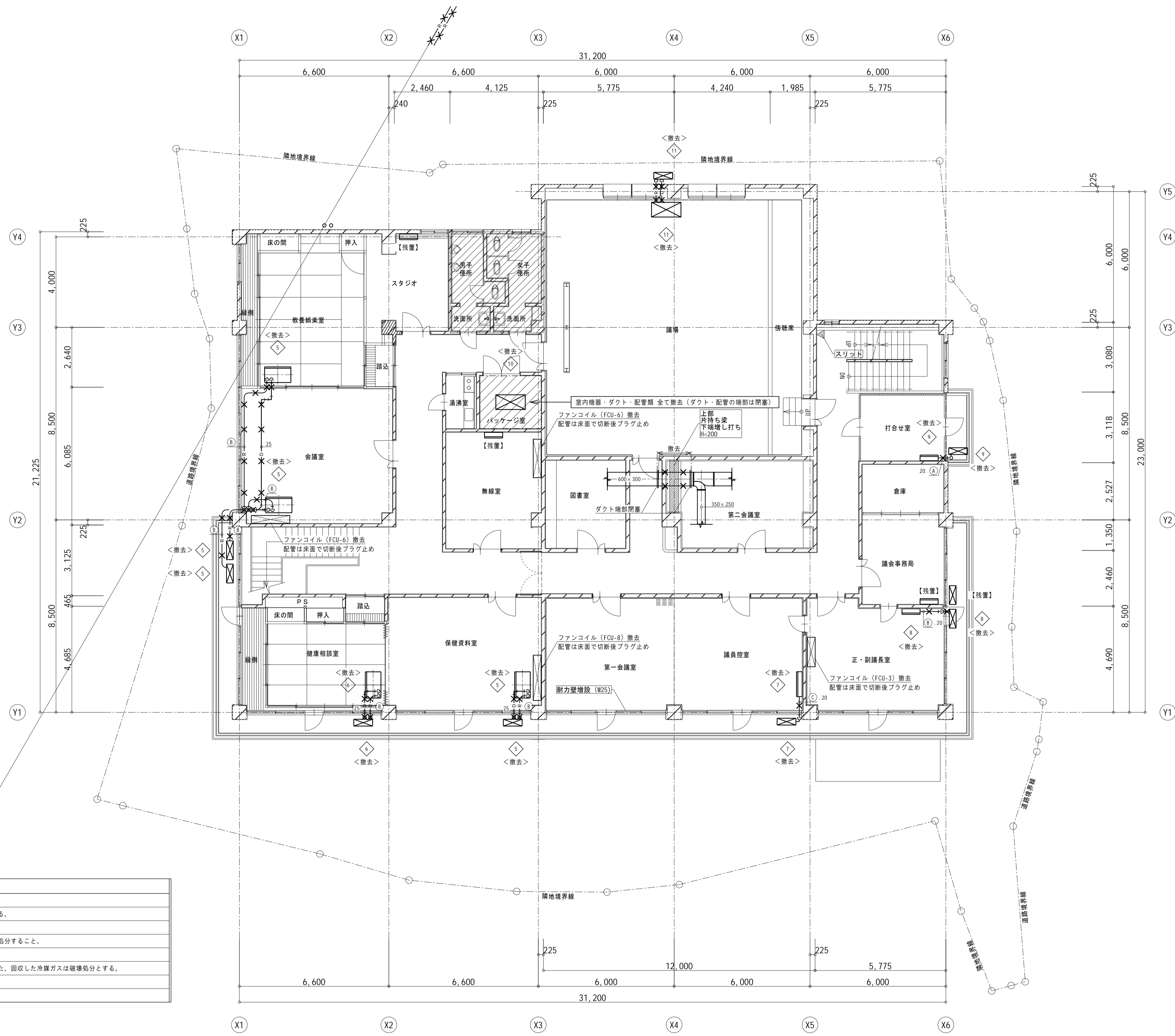
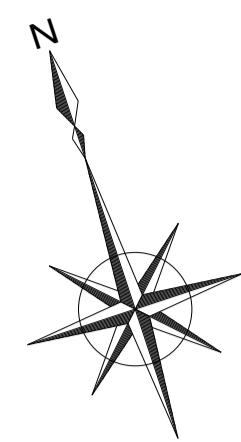
- 特記事項
- 図中の空調機器及び×印の配管・ダクト撤去を行う。  
配管・ダクトについては露出部分のみとし天井内隠ぺい部は残置とする。  
ただし、前掲改修等の施工に支障となる部分については撤去とする。
  - 撤去機器・配管・ダクトは場外搬出処分とし関係法規に基づき適正に処分すること。
  - 配管・ダクト撤去後の貫通穴はモルタル等で閉塞すること。
  - 空調室外機撤去については冷媒ガスを回収した後に撤去すること。また、回収した冷媒ガスは破壊処分とする。

記号	冷媒サイズ
Ⓐ	6.4φ×9.5φ
Ⓑ	6.4φ×12.7φ
Ⓒ	9.5φ×15.9φ
Ⓓ	9.5φ×19.1φ
Ⓔ	9.5φ×25.4φ
Ⓕ	12.7φ×25.4φ

※室内～外機間の渡り配管も撤去とする。

現況 1階平面図 1/100

- 凡例
- 耐震補強位置を示す
  - 改修範囲を示す



- 特記事項
- 1) 図中の空調機器及び × 印の配管・ダクト撤去を行う。  
配管・ダクトについては露出部分のみとし天井内隠ぺい部は残置とする。  
ただし、前震改修等の施工に支障となる部分については撤去とする。
  - 2) 撤去機器・配管・ダクトは場外搬出見分し関係法規に基づき適正に処分すること。
  - 3) 配管・ダクト撤去後の貫通穴はモルタル等で閉塞すること。
  - 4) 空調室外機撤去については冷媒ガスを回収した後に撤去すること。また、回収した冷媒ガスは破壊処分とする。

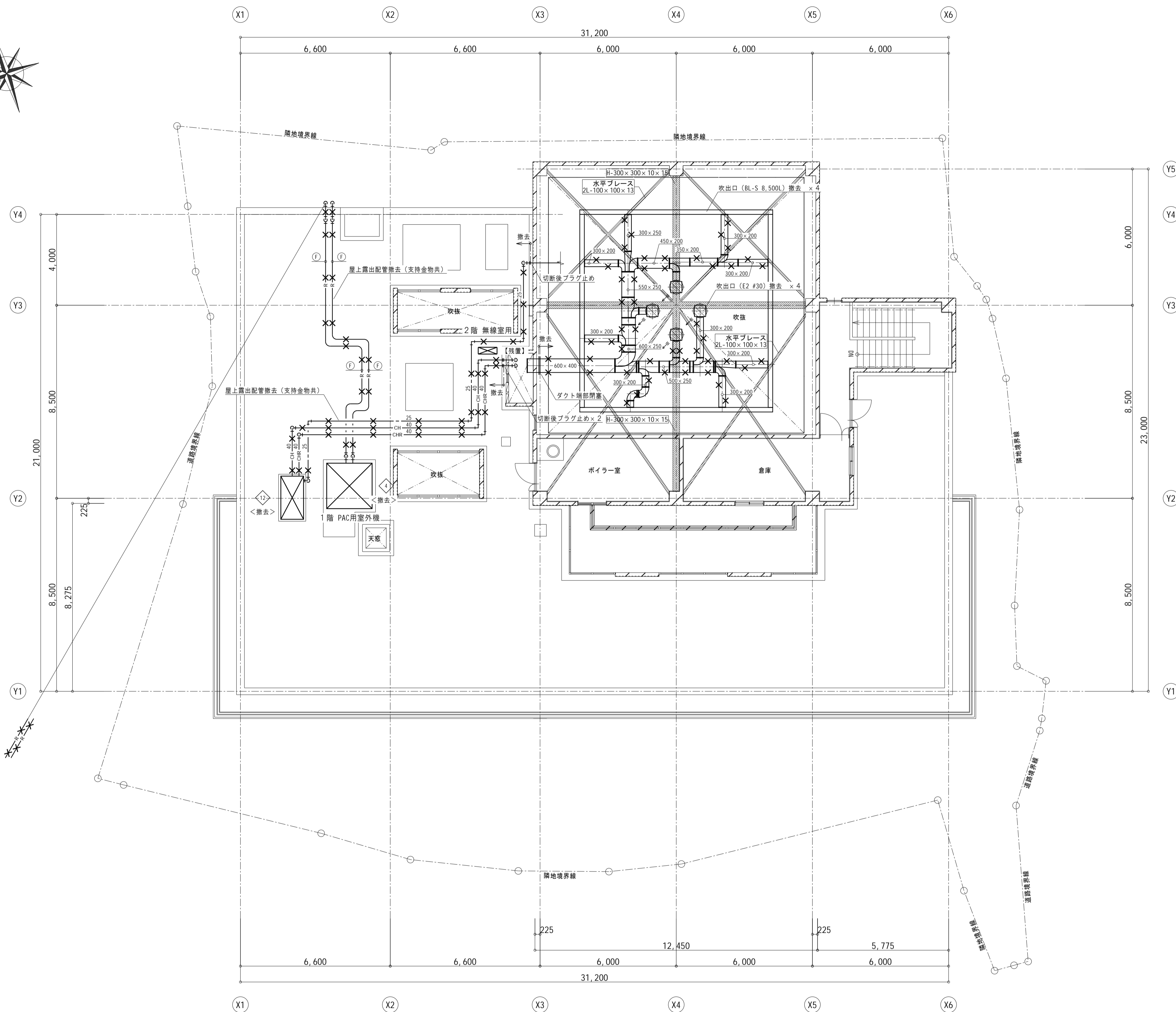
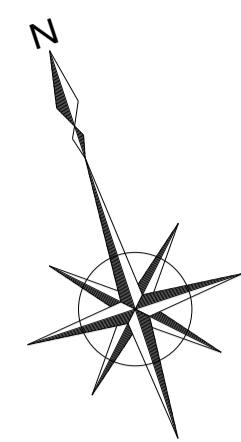
記号	冷媒サイズ
Ⓐ	6.4φ×9.5φ
Ⓑ	6.4φ×12.7φ
Ⓒ	9.5φ×15.9φ
Ⓓ	9.5φ×19.1φ
Ⓔ	9.5φ×25.4φ
Ⓕ	12.7φ×25.4φ

※室内～外機間の渡り配線も撤去とする。

現況2階平面図 1/100

- 凡例
- 耐震補強位置を示す
  - 改修範囲を示す

株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也	校閲 作図 担当	工事名 笠置町庁舎耐震改修工事 図面名 空調和設備 現況2階平面図	縮尺 1/100 令和 年 月 日	図面番号 M / 18



既設機器リスト

記号	機器名	仕様	冷媒ガス	充填量 (kg)
①	空調機 (室内・外機共)	型式: 天吊露出形 標準ベア 能力: 4.5kW / 5.0kW	R410A	2.20
②	空調機 (室内・外機共)	型式: 床置形 標準ベア 能力: 4,500kcal/h / 5,000kcal/h	R22	1.51
③	空調機 (室内・外機共)	型式: 天井カセット形 標準ベア 能力: 16.0kW / 18.0kW	R410A	3.60
④	空調機 (室内・外機共)	型式: 床置パッケージ形 能力: 31.4kW / 25.8kW	R407C	23.0
⑤	空調機 (室内・外機共)	型式: 天吊露出形 標準ベア 能力: 5.0kW / 5.6kW	R410A	1.70
⑥	空調機 (室内・外機共)	型式: 天吊露出形 標準ベア 能力: 4.0kW / 5.0kW	R410A	1.65
⑦	空調機 (室内・外機共)	型式: 壁掛形 標準ベア 能力: 8.0kW / 9.0kW	R410A	2.50
⑧	空調機 (室内・外機共)	型式: 壁掛形 標準ベア 能力: 4.0kW / 5.0kW	R410A	1.30
⑨	空調機 (室内・外機共)	型式: 壁掛形 標準ベア 能力: 2.2kW / 2.5kW	R22	0.60
⑩	空調機	型式: 水冷式床置パッケージ形		
⑪	空調機 (室内・外機共)	型式: 床置形 能力: 28.0kW / 31.5kW	R410A	6.00
⑫	チリングユニット	冷温水ポンプ共	R22	8.10

特記事項

- 1) 図中の空調機器及び X 印の配管・ダクト撤去を行う。  
配管・ダクトについては露出部分のみとし天井内隠ぺい部は残量とする。  
ただし、前震改修等の施工に支障となる部分については撤去とする。
- 2) 撤去機器・配管・ダクトは排外搬出処分とし関係法規に基づき適正に処分すること。
- 3) 配管・ダクト撤去後の貫通穴はモルタル等で閉塞すること。
- 4) 空調室外機撤去については冷媒ガスを回収した後に撤去すること。また、回収した冷媒ガスは破壊処分とする。

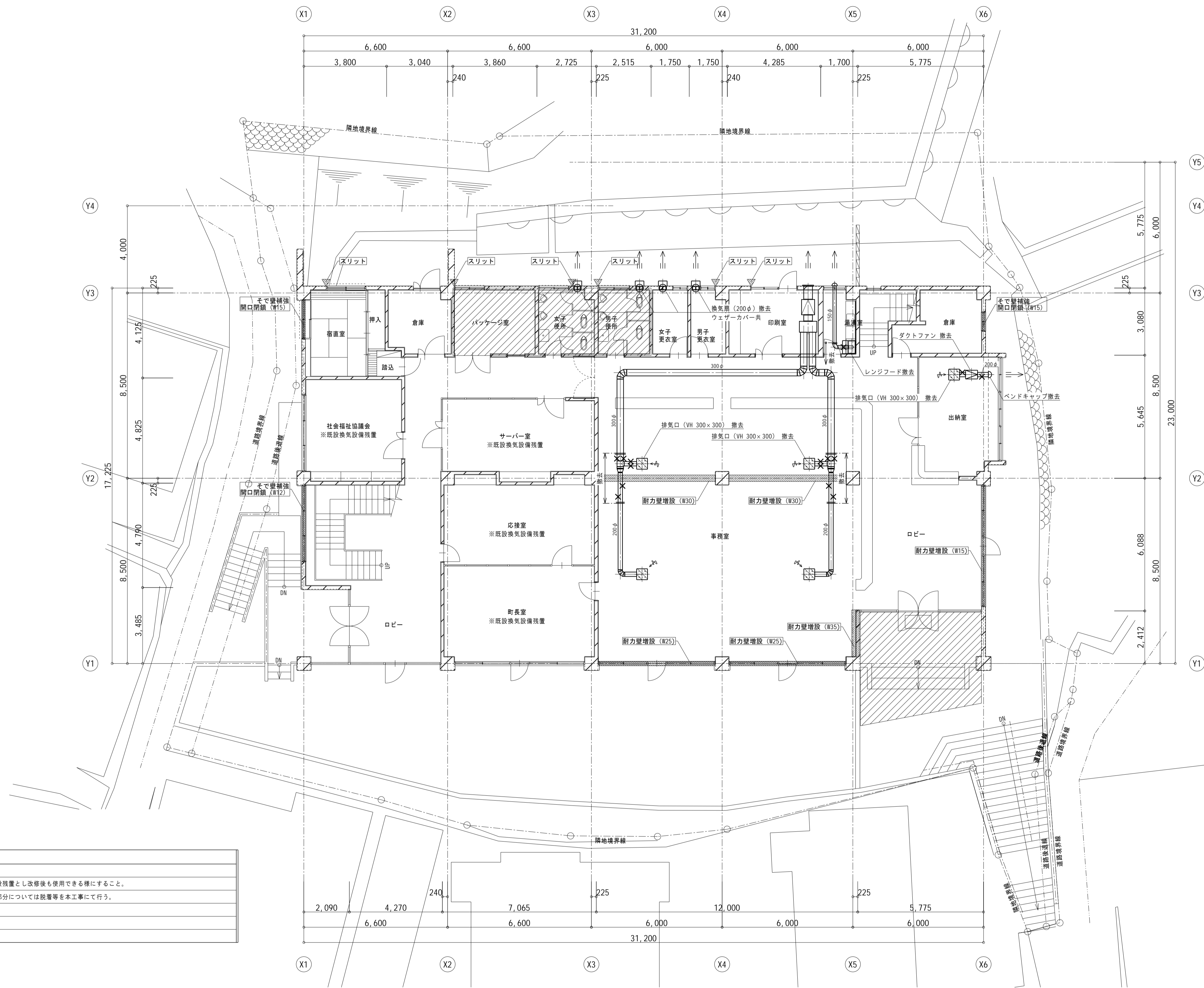
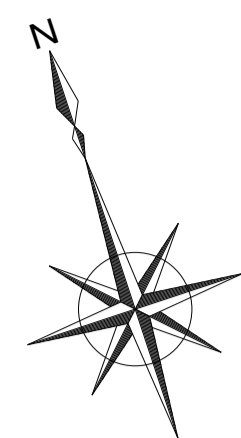
記号	冷媒サイズ
①	6.4φ × 9.5φ
②	6.4φ × 12.7φ
③	9.5φ × 15.9φ
④	9.5φ × 19.1φ
⑤	9.5φ × 25.4φ
⑥	12.7φ × 25.4φ

※室内～外機間の渡り配線も撤去とする。

凡例

- 耐震補強位置を示す
- 改修範囲を示す

現況3階平面図 1/100

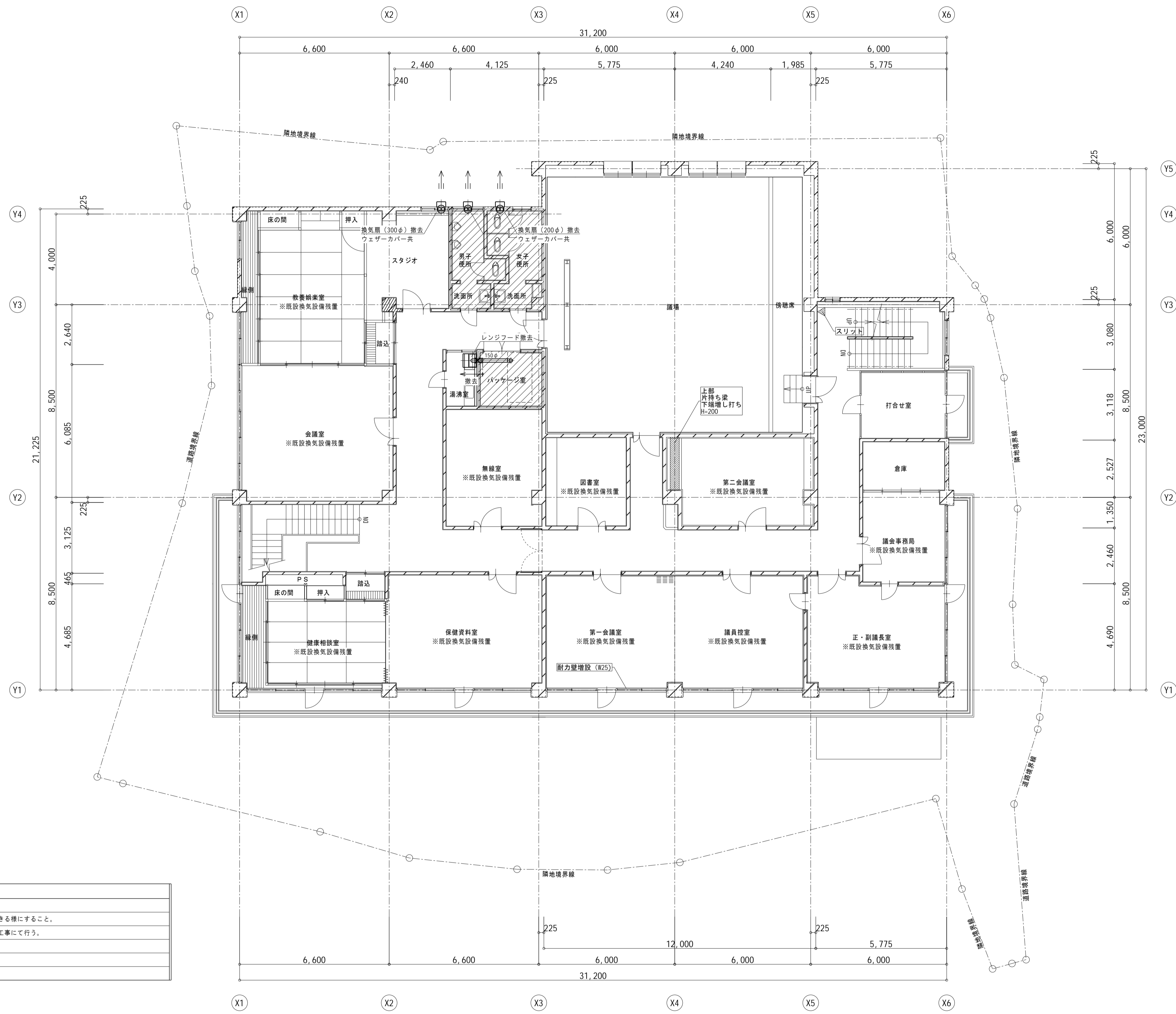
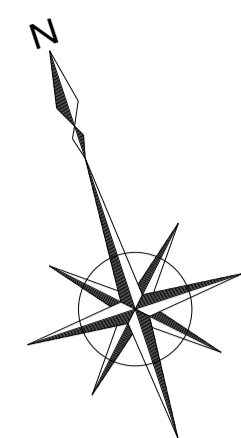


- 特記事項
- 1) 図示の換気機器・ダクト等の撤去を行う。
  - 2) 図示以外の換気設備については基本的に既設残置とし改修後も使用できる様にする。ただし、耐震改修等の施工時に支障となる部分については脱着等を本工事にて行う。

現況 1階平面図 1/100

- 凡例
- 耐震補強位置を示す
  - 改修範囲を示す

株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也	校閲 作図 担当	工事名 笠置町庁舎耐震改修工事	縮尺 1/100	図面番号 M / 20
	図面名 換気設備 現況 1階平面図	令和 年 月 日		

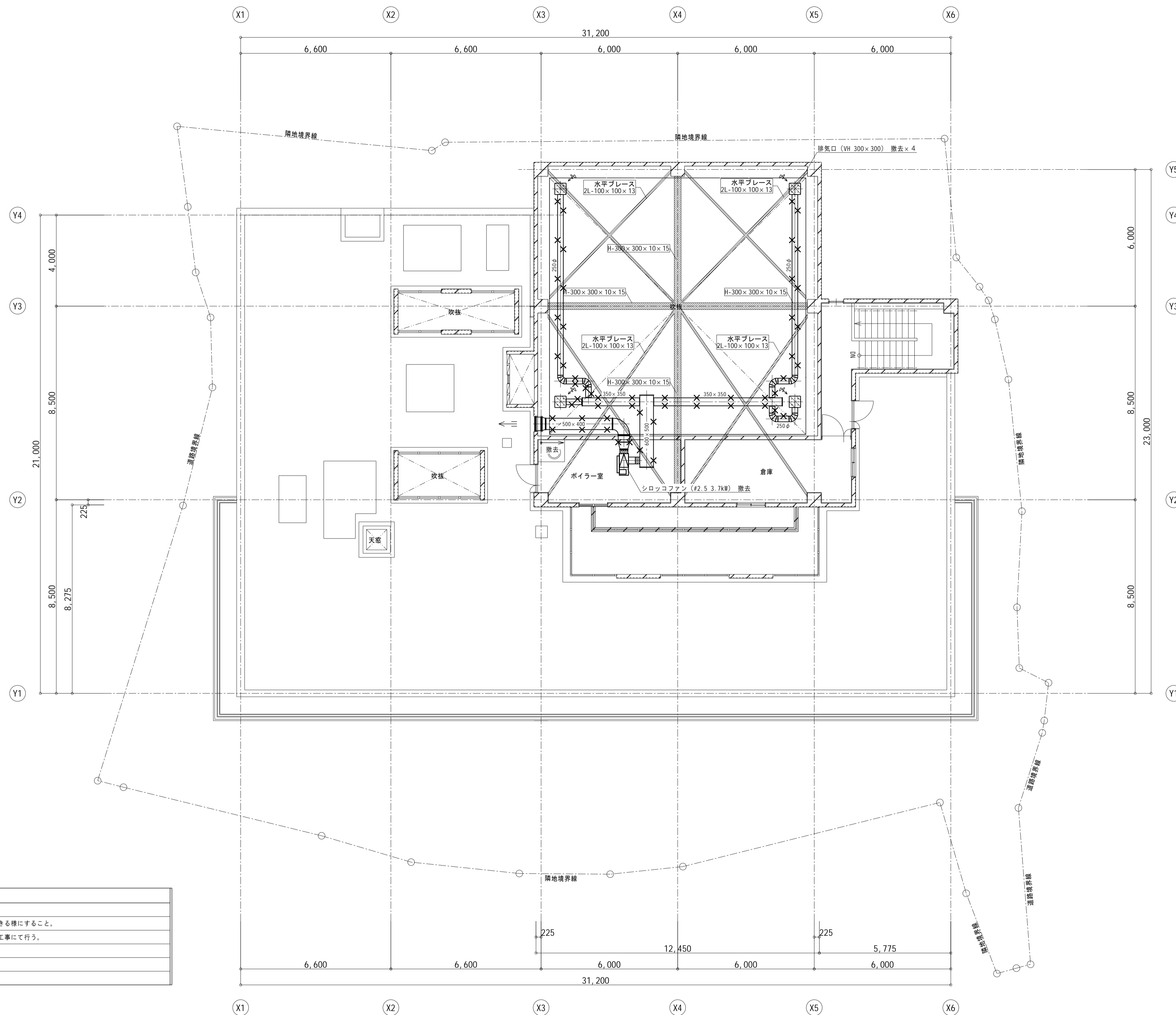
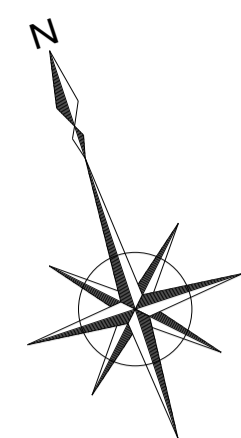


特記事項
1) 図示の換気機器・ダクト等の撤去を行う。
2) 図示以外の換気設備については基本的に既設残置とし改修後も使用できる様にする。ただし、耐震改修等の施工時に支障となる部分については設置等を本工事にて行う。

現況2階平面図 1/100

凡例	
	耐震補強位置を示す
	改修範囲を示す

株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也	校閲 作図 担当	工事名 笠置町庁舎耐震改修工事 図面名 換気設備 現況2階平面図	縮尺 1/100 令和 年 月 日	図面番号 M / 21



特記事項
1) 図示の換気機器・ダクト等の撤去を行う。
2) 図示以外の換気設備については基本的に既設残置とし改修後も使用できる様にする。
ただし、耐震改修等の施工時に支障となる部分については脱着等を本工事にて行う。

現況3階平面図 1/100

凡例	
	耐震補強位置を示す
	改修範囲を示す

株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也	校閲 作図 担当	工事名 笠置町庁舎耐震改修工事 図面名 換気設備 現況3階平面図	縮尺 1/100 令和 年 月 日	図面番号 M / 22